ほかにはない
アンサーを。

オリックス株式会社

2022年3月期第1四半期　決算説明資料

執行役　財経本部長　　矢野　人磨呂

2021年8月3日

Executive Summary

（1）当期純利益/ROE

当期純利益 652億円（前年同期比＋30.3%、前Q比+29.5%）、ROE（年換算）8.6%

通期の当期純利益予想（2,500億円）に対する進捗率は26.1%

（2）セグメント利益の成長

欧州、米国、不動産、法人営業・メンテナンスリースが大幅増益、売却益も実現

コロナの影響が大きい3事業*の減少幅を上回る利益伸長

*不動産運営、輸送機器、コンセッション

（3）パイプライン/新規実行

再生可能エネルギー事業やMICE-IRをはじめ、潤沢なパイプライン

発表済み案件の着実な実行

（4）株主還元

22.3期の通期配当予想78円（中間配当金39円）は変更なし

自社株買いは、22.3期中に500億円を実行予定（102億円完了、2021年6月末時点）

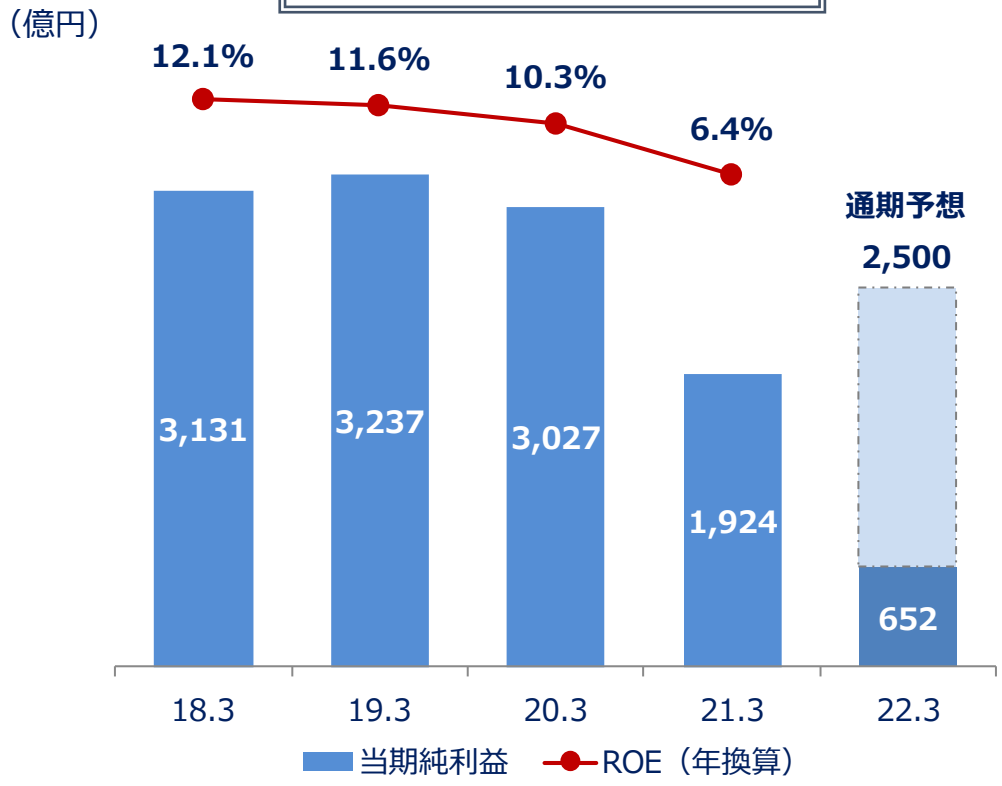
Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

（1）当期純利益/ROE

- ✓ 当期純利益は 652億円（前年同期比+30.3%、前Q比+29.5%、進捗率*26.1%）、ROE（年換算）は 8.6%
- ✓ 21.3期2Q以降、順調な回復を継続、20.3期4Qを超える実績

*通期純利益予想2,500億円に対する進捗

当期純利益**とROE



四半期の当期純利益とROEの推移

**「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

（１）セグメント利益の内訳

22.3期1Q セグメント利益 **1,069億円** 前年同期比 +35.8% (+282億円)		
	うち ベース利益	**772億円**　前年同期比+23.3% (+146億円) 欧州、米国、法人営業・メンテナンスリースなど複数セグメントが好調。コロナ影響を受けた3事業（不動産運営、輸送機器、コンセッション）の減少幅を上回る
	うち 売却益*	**297億円**　前年同期比+85.6% (+137億円) 米国PE投資でRoadSafeなど複数案件を売却、物流施設「枚方Ⅱロジスティクスセンター」を売却

セグメント利益（通期）

セグメント利益（四半期）

*主な売却益：賃貸不動産売却益、子会社・関連会社株式売却益、有価証券売却益など。売却益の内訳はP.40をご参照ください

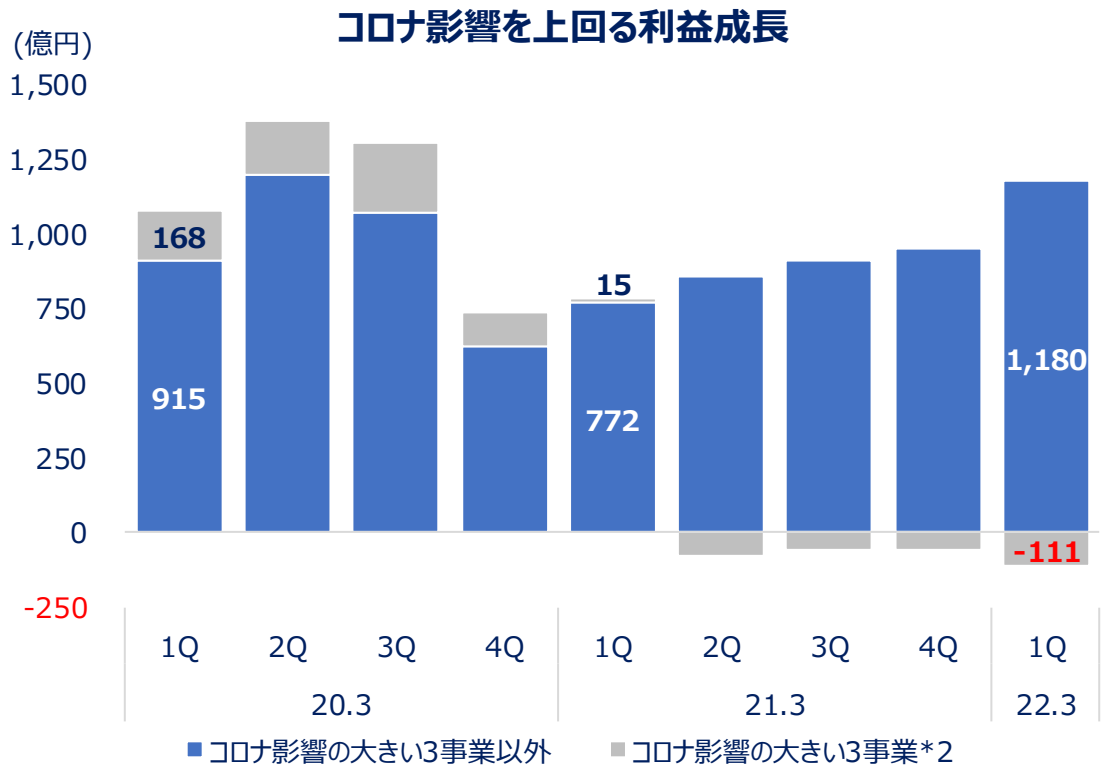
Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

（2）セグメント利益の成長　コロナの影響を上回る業績

- ✓ 欧州、米国、不動産、法人営業・メンテナンスリースが大幅増益、売却益も実現
- ✓ コロナの影響が大きい3事業*1の減少幅を上回る利益伸長

*1: 3事業それぞれのセグメント利益の推移は、P.39をご参照

【セグメント利益】



欧州

- ✓ ESG重視の潮流でORIX Europeの**AUMが過去最高**を更新

米国

- ✓ **PE投資**の売却に加え、**Lument***3等アセットマネジメントも堅調

不動産

- ✓ **物流施設等**の売却のほか、**大京**も増益

法人営業・メンテ

- ✓ 自動車は**中古車**市場が活況、**レンタカー**は回復
- ✓ **レンテック**は21.3期2Q以降、コロナから回復基調続く

*2: 不動産（運営等）のセグメント利益は、不動産セグメントにおける投資・運営事業のセグメント利益から売却益を差し引いて算出　*3: Lumentは不動産ローン組成等を主な事業とするアセットマネジメント会社

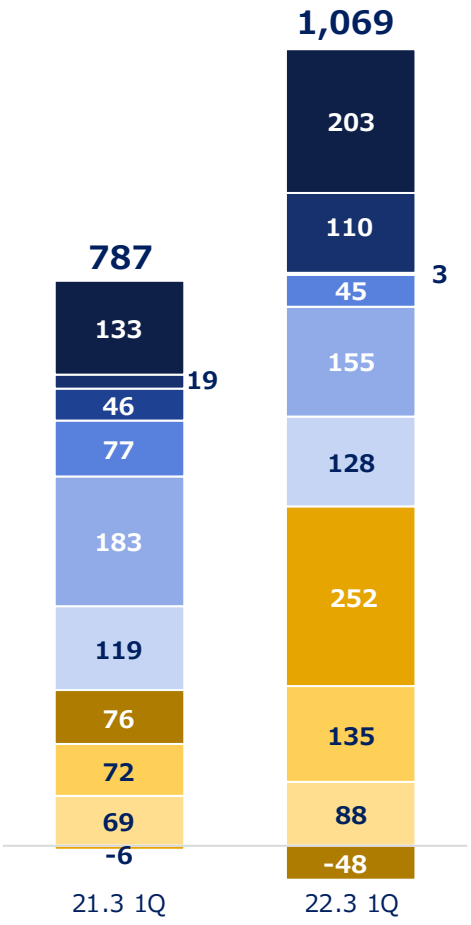
Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント業績　①セグメント利益

✓　前Q比では7セグメントで増益。また、前年同期比でも6セグメントが増益

セグメント利益

（億円）



（億円）

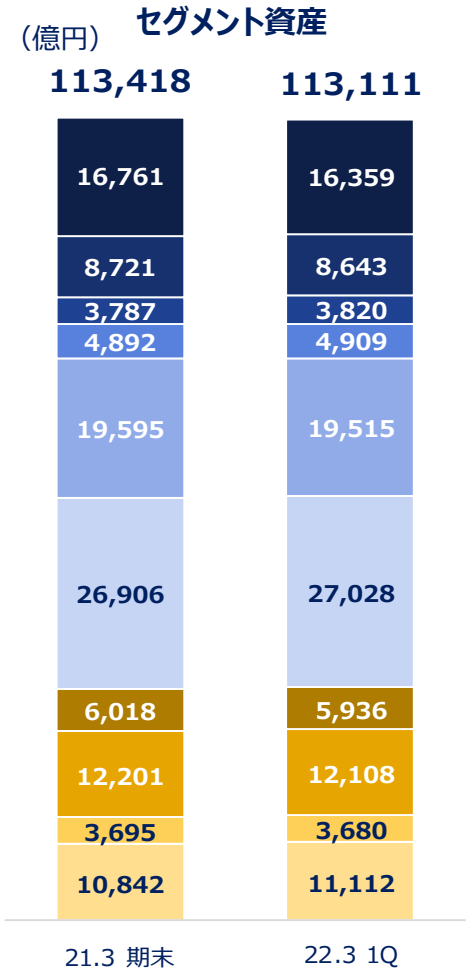
		21.3 1Q	21.3 2Q	21.3 3Q	21.3 4Q	22.3 1Q	前Q比	前年同期比	ハイライト
1	法人営業・メンテナンスリース	133	178	193	203	203	±0	+70	中古車市場の活況やレンテックの回復で増益
2	不動産	19	92	56	93	110	+17	+92	物流施設等の売却益や大京の分譲利益で大幅増益
3	事業投資・コンセッション	46	▲ 3	3	▲ 7	3	+10	▲43	コンセッションの赤字で前年同期比では減益ながら、投資先の業績好調で前Q比は増益
4	環境エネルギー	77	59	35	105	45	▲60	▲32	前期1Qに計上した評価益の反動で減益なるも、評価益除くと増益
5	保険	183	171	162	46	155	+109	▲28	旧ハートフォード生命は減益ながら、オリックス生命は新規契約が伸び増益
6	銀行・クレジット	119	133	132	115	128	+12	+9	銀行が好調で、前年同期比と前Q比いずれも増益
7	輸送機器	76	▲ 21	▲ 12	10	▲ 48	▲58	▲124	AvolonがHNA関連企業とのリース契約に基づく損失を計上し減益
8	ORIX USA	▲ 6	105	152	152	252	+100	+257	PE投資の売却益を計上し、前年同期比と前Q比とも大幅に増益
9	ORIX Europe	72	99	100	124	135	+11	+63	AUMが2020年3月を底に回復し2021年6月には過去最高を更新
10	アジア・豪州	69	▲ 31	35	59	88	+29	+19	中国、韓国でリースの新規実行が加速し増益
合計		787	781	857	899	1,069	+170	+282	–

*22.3期1Qより、一部の支払利息および販売管理費のセグメントへの配賦方法を変更。これに伴い、セグメント利益を過年度に遡って組替再表示

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント業績　②セグメント資産

- ✓ 法人営業は、引き続き案件を厳選しており、資産減少
- ✓ アジア・豪州は、一部の国でリースの新規実行が伸び、資産増加



（億円）

		22.3 1Q	前期末比	ROA*	ハイライト
1	法人営業・メンテナンスリース	16,359	▲401	3.4%	案件を厳選しており、貸付金およびリース残高が減少
2	不動産	8,643	▲77	3.5%	物流施設等の売却に伴い資産減少
3	事業投資・コンセッション	3,820	+33	▲1.0%	–
4	環境エネルギー	4,909	+17	2.5%	–
5	保険	19,515	▲80	2.3%	–
6	銀行・クレジット	27,028	+122	1.3%	銀行で投資用不動産ローンが伸び資産増加
7	輸送機器	5,936	▲81	▲3.4%	航空機は減価償却や売却で資産減少したが、船舶の資産は増加
8	ORIX USA	12,108	▲93	6.5%	PE投資の売却等に伴い、資産減少
9	ORIX Europe	3,680	▲15	11.0%	–
10	アジア・豪州	11,112	+269	2.4%	中国、韓国でリースの新規実行が加速し増加
合計		113,111	▲307	2.3%	–

*セグメント資産ROAは、ユニット毎の税引後利益を用いて算出

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

（３）パイプライン/新規実行

✓ 再生可能エネルギー事業やMICE-IRをはじめ、潤沢なパイプライン

✓ 発表済み案件の確実な実行、オリックスとして初となる個人向けグリーンボンドを発行

カテゴリー	案件概要
環境エネルギー	**Elawanの買収を7月に完了、再エネ事業のグローバル展開を加速** ✓ 海外は**Elawan**や**Greenko**で引き続き潤沢な開発プロジェクトを確保 ✓ 国内は大企業～中堅の製造業・小売業を中心に**PPAモデル***でパイプライン・新規実行が多数 ✓ 一般廃棄物を発電燃料とする**バイオガス発電所**を６月に竣工
環境エネルギー以外	**MICE-IRなど、多様なパイプラインと新規実行** ✓ **MICE-IR**は、7/20に大阪府市へ提案書を提出 ✓ **宮城県の上工下水コンセッション**は、5月に特別目的会社と維持管理会社へ出資 ✓ **物流施設**は、首都圏を中心に開発を継続

*PPAモデル：当社が電力需要家の敷地や屋根などを借り受けて太陽光発電システムを設置し、発電した電力を需要家に供給する事業モデル

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

（空白）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント実績

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（1）法人営業・メンテナンスリース

*1億円未満を四捨五入して表示しているため、各ビジネスユニットの合計値は、必ずしもセグメント数値とは合致しません

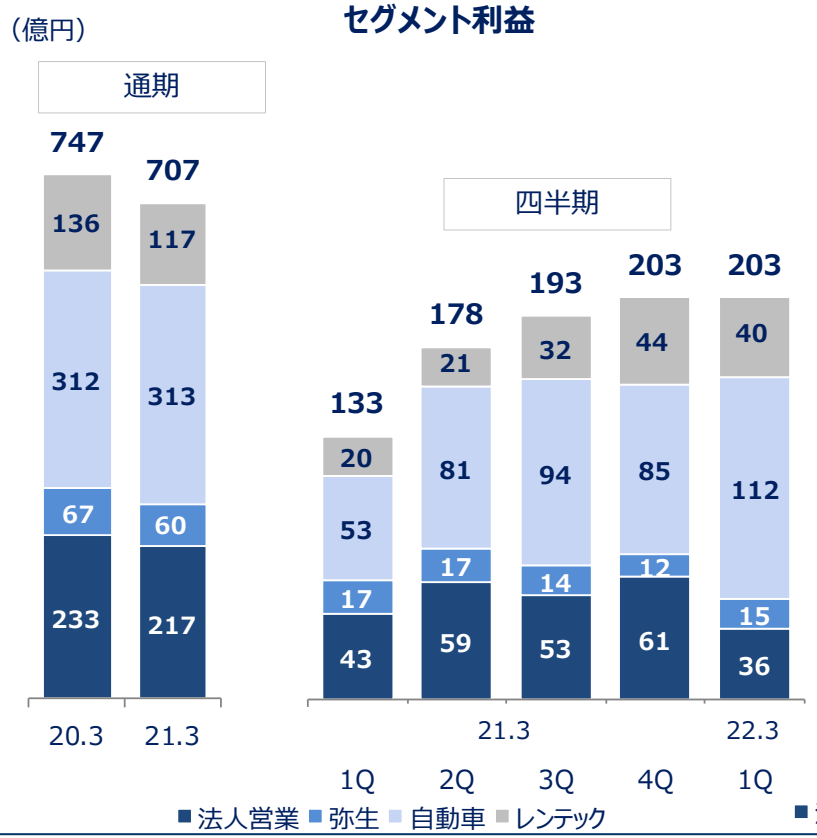
セグメント利益：203億円	前年同期比　+70億円（+53%）

- ✓ 自動車は、中古車市場が好調なほか、レンタカーがコロナから回復しつつあり前年同期比で大幅増益
- ✓ レンテックは、前期1Qにコロナ禍で技術センターの稼働を抑制したが、その後平常化し、業績堅調

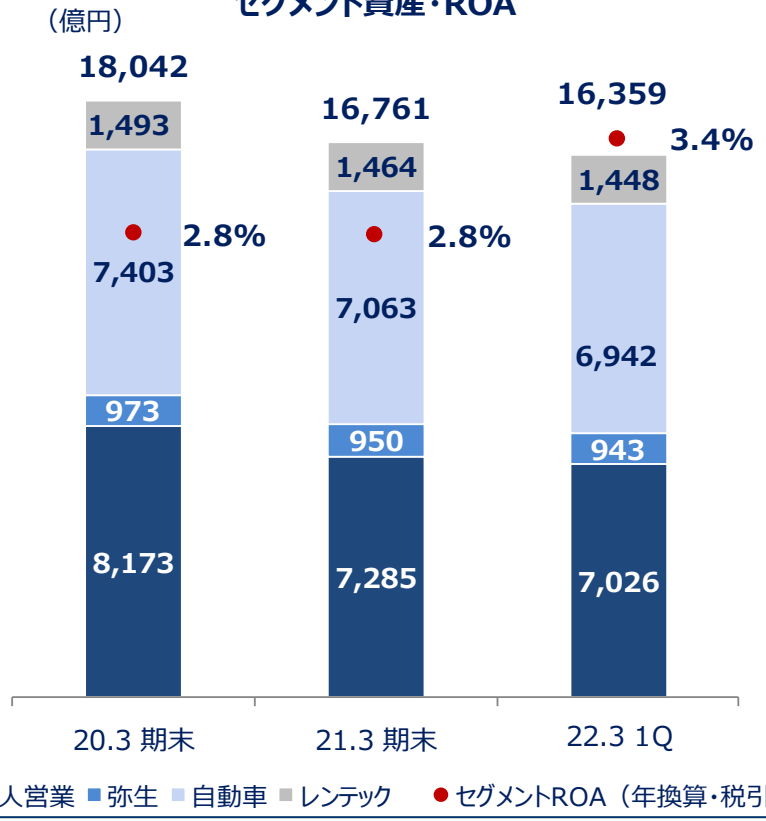
セグメント資産：16,359億円	前期末比　▲401億円（▲2%）

- ✓ 低金利の環境下、融資・リース案件を引き続き厳選しており、資産減少

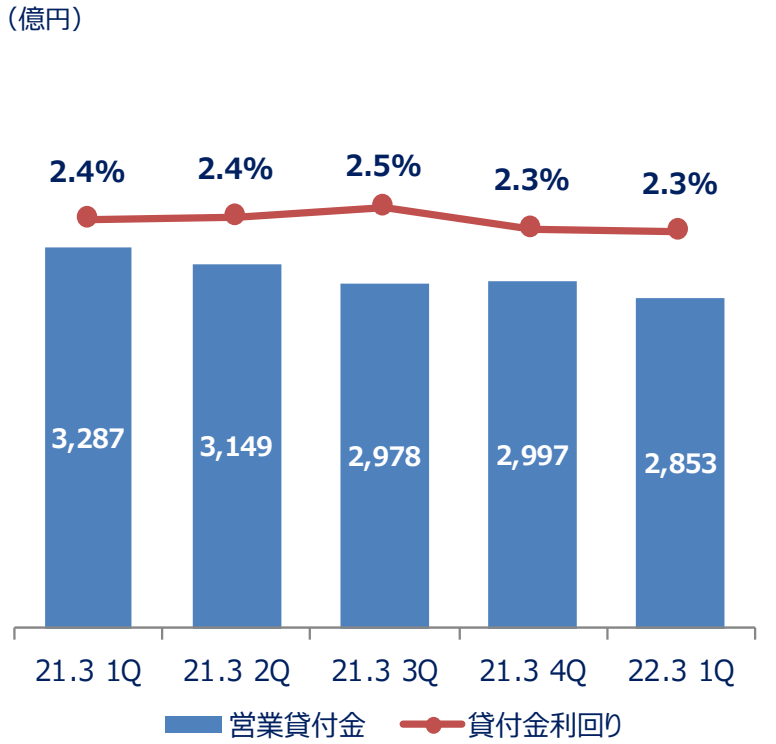
セグメント利益



セグメント資産・ROA



営業貸付金（利回り）



貸付金利回り＝金融収益のうち貸付金利息÷営業貸付金の平均残高

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

法人営業・メンテナンスリース事業について

✓ セグメント事業内容：金融、各種手数料ビジネス、弥生、自動車や電子計測器・ICT関連機器などのリースおよびレンタル

法人営業	弥生	自動車	レンテック
中堅・中小企業向けリース・融資・各種ソリューションを提供	業務ソフトウエア開発・販売およびサポートサービスの提供	リース、レンタカー、カーシェアリングを展開	電子計測器・ICT関連機器などのレンタルと専門サービス
営業ネットワーク **全国展開**	**有償契約ユーザー** **約74万社**[*1]	**車両管理台数** **141.6万台**[*4]	**保有レンタル機器** **3.4万種、220万台**[*6]
フィービジネスを主体に収益確保 ・設備・資金調達支援 ・脱炭素化支援 ・事業承継支援 ・福利厚生支援	**保守サービスのストック収入により安定的に収益を獲得** ・会計ソフト（販売本数シェア**No.1**[*2]） ・クラウド型会計ソフト（利用シェア**No.1**[*3]） ・保守サービス	**幅広い商品・サービスを展開、複合的な提案力が強み** ・リース（車両台数 業界**No.1**[*5]） ・レンタカー（車両台数 業界**No.2**[*5]） ・カーシェアリング （車両台数 業界**No.3**[*5]）	**国内最大規模の機器レンタル会社、専門サービスも展開** ・計測器・ICT関連機器のレンタル ・3Dプリンタでの試作品造形受託 ・5G導入支援

*1 2020年9月末
*2 業務ソフト市場における弥生製品のシェア：第三者による市場調査をもとに独自集計（対象期間：2019年10月1日~2020年6月30日）
*3 「クラウド会計ソフトの利用状況調査」MM総研調べ2021年4月
*4 2021年3月末時点
*5 オリックス自動車調べ(2021年6月末時点)
*6 2021年3月末時点

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

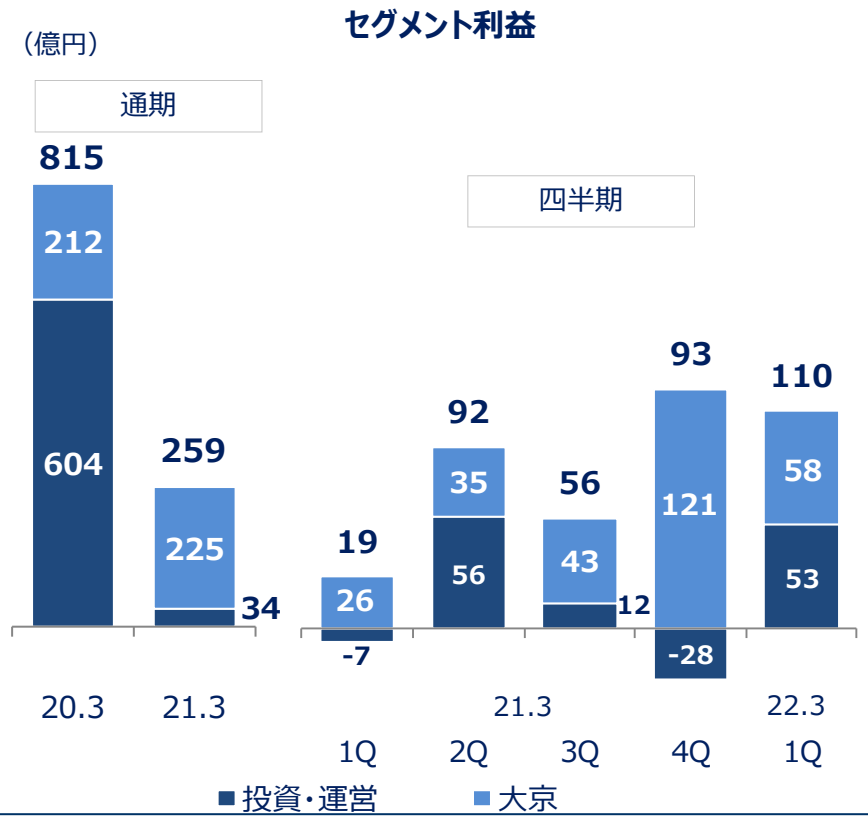
セグメント別実績（2）不動産

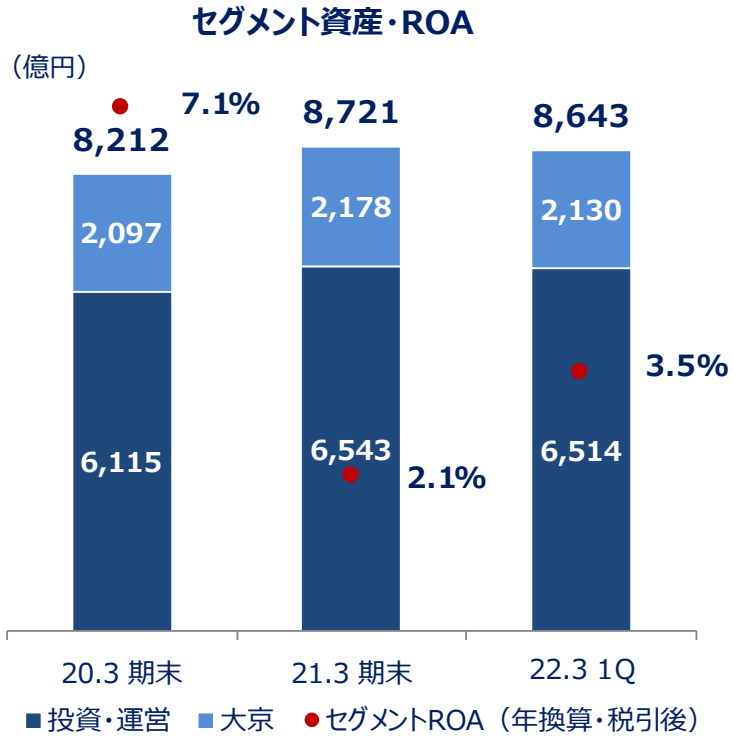
セグメント利益：110億円	前年同期比　+92億円（+495%）

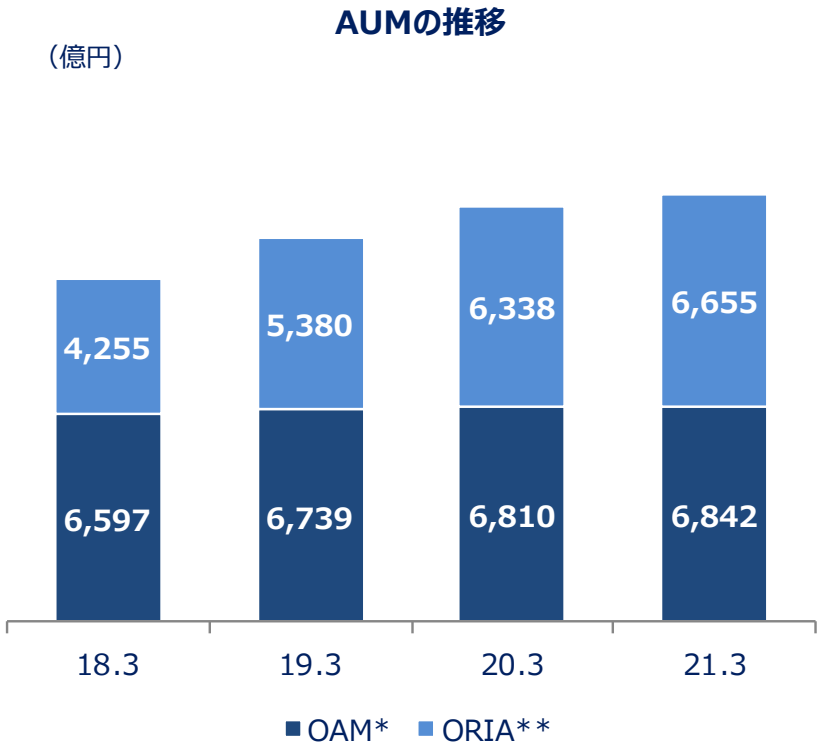
✓ 物流施設等の売却益や大京の新築マンション分譲利益で大幅増益
✓ 運営施設は、ホテル・旅館とも前年同期比で稼働率改善し赤字幅縮小

セグメント資産：8,643億円	前期末比　▲77億円（▲1%）

✓ 物流施設や賃貸マンションの売却により、資産減少







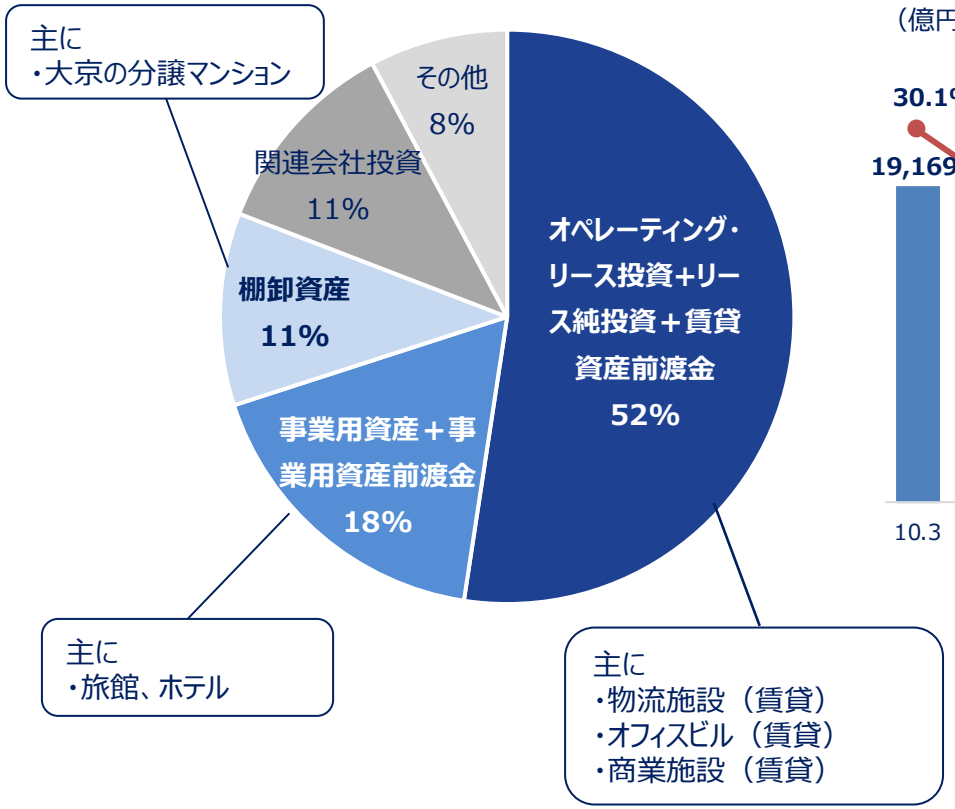
*　オリックス・アセットマネジメント㈱（J-REIT）　毎年2月末時点の期末残高を同年3月末として掲載
** オリックス不動産投資顧問㈱（私募ファンド）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

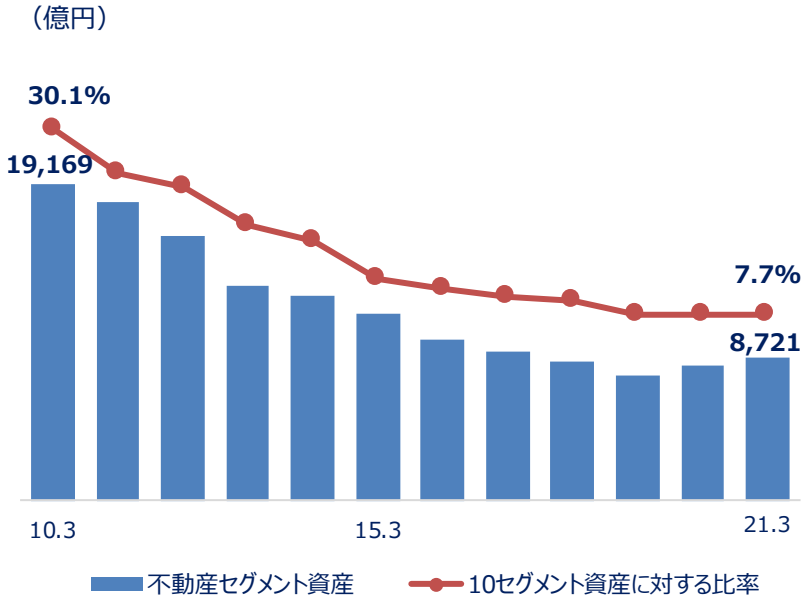
不動産事業について

✓ セグメント事業内容：不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント

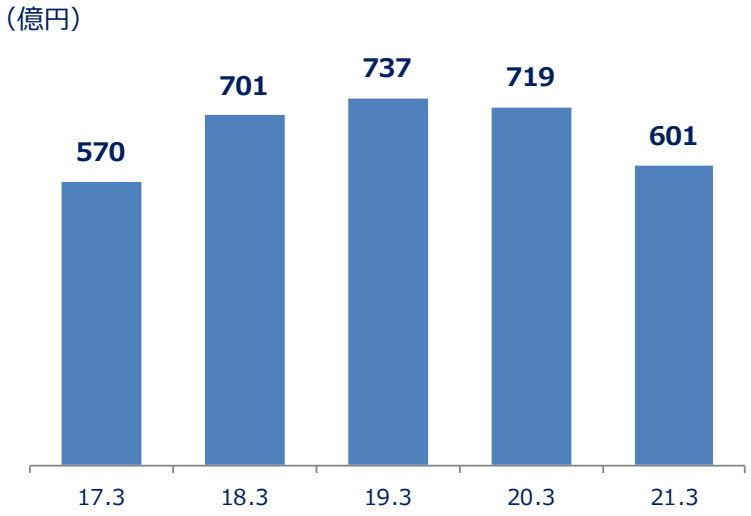
セグメント資産（21.3期末）



セグメント資産の推移



賃貸不動産の含み益*



*不動産以外のセグメントの賃貸不動産も含む。運営事業の資産は含まない

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

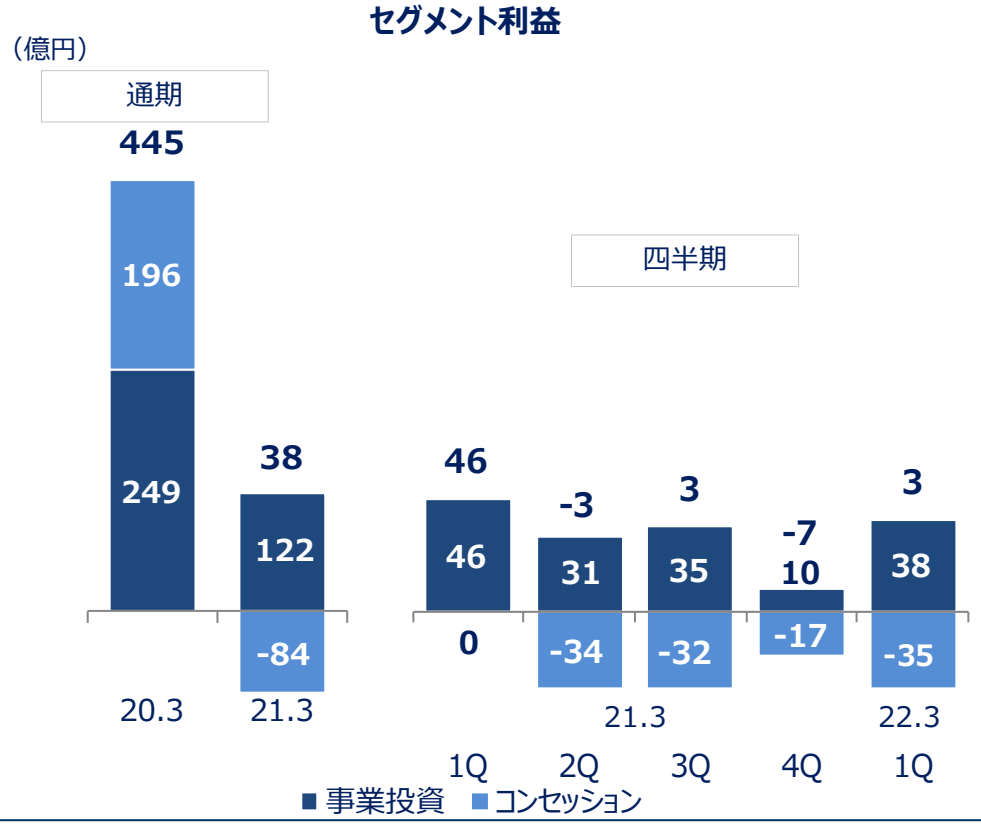
セグメント別実績（3） 事業投資・コンセッション

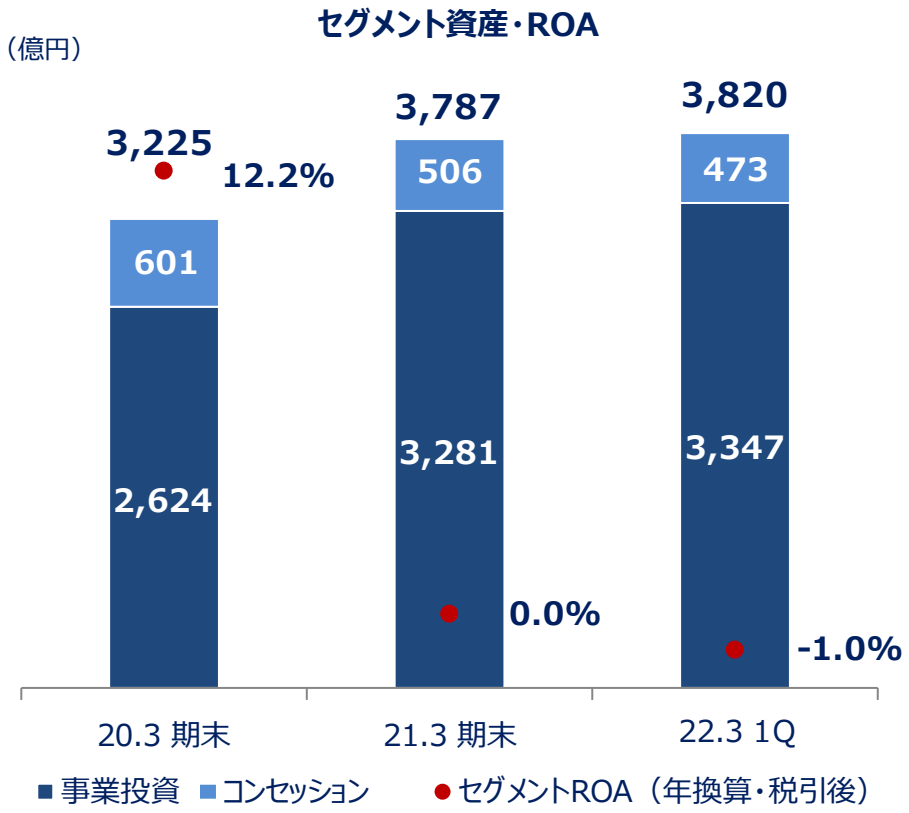
セグメント利益：3億円	前年同期比　▲43億円（▲94%）

- ✓ 小林化工は生産再開できていないものの、同社以外の大半の投資先からの取込利益は増加
- ✓ コンセッションは減益。関西エアポート社の実績を3か月遅れで取り込んでおり、前期1Qはコロナの影響が本格化する前の業績が含まれる

セグメント資産：3,820億円	前期末比　+33億円（+1%）

- ✓ PE投資先の事業展開に伴い資産増加





Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

事業投資・コンセッション事業について

✓ 事業投資の投資先は17件（2021年6月末時点）。オリックスグループの新たなビジネス・セグメントの構築を目指す

投資実績

幅広いネットワークおよび豊富な経験を生かし、優れた投資実績を誇る

投資対象	投資期間
中小型企業に注力 (EV：数百億円)	1件あたり 3年～5年以上

実行案件数(2012年以降)	投資実績
26件	IRR 30% 2012年以降の投資案件(8件)のEXITの平均値

事業投資の特徴

資金力のみならず、幅広い業種における事業運営ノウハウを有する。対象会社のバリューアップを図りつつ、投資期間・投資形態に柔軟性をもつ

フレキシビリティ	**PEファンドとは異なり自己資金での投資のため、柔軟な投資期間・投資形態が可能**
実践的な支援	経営支援のための人材を送り込み、オリックスグループのネットワークを生かして事業成長のためにコワークする等、**投資先企業と本質的な「パートナーシップ」を構築**
シナジー	オリックスグループは、**日本において強力な国内法人営業ネットワークを有する。**ネットワークを活用した投資活動を通じて、多角的な事業ポートフォリオの構築に携わり、またグループでのシナジー効果を生み出す
注力分野	**社会的課題の解決に資する、かつ成長が期待できる産業に着目**し、物流、レンタル、IT・情報サービス、ヘルスケア、酪農等の産業に関しては重点的に投資を積み上げていく。注力分野では長期的な保有も行い、拡張性を追求すべくロールアップ等を積極的に行い、投資先間のシナジーも実現する

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（4） 環境エネルギー

セグメント利益：45億円	前年同期比　▲32億円（▲42%）

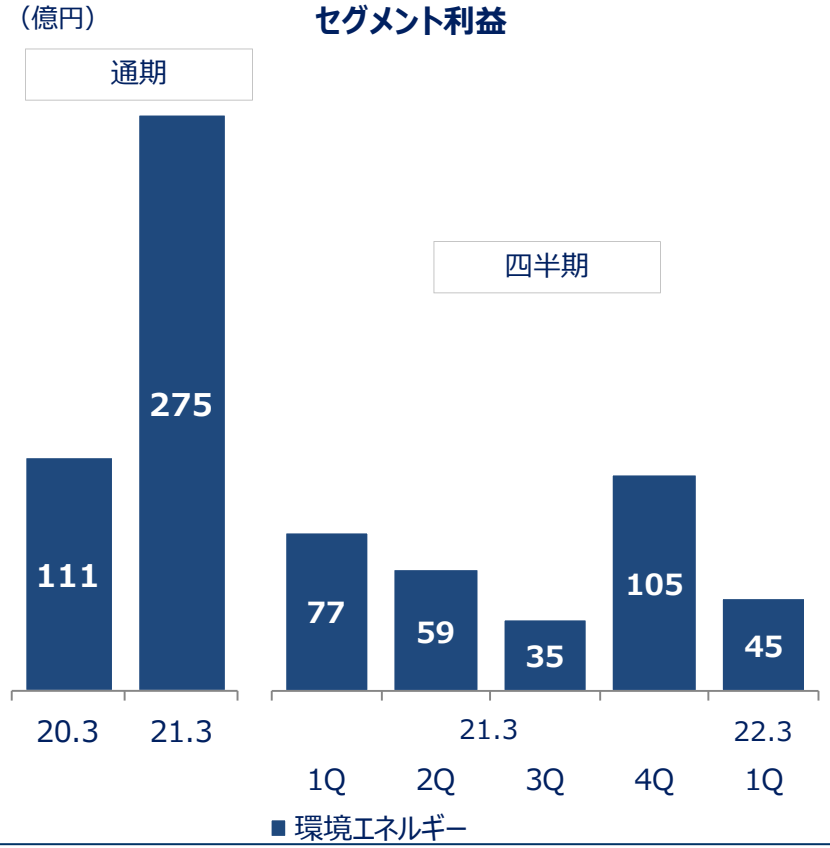
- ✓ 前期1Qに計上した評価益の反動で減益
- ✓ 国内は大企業～中堅の製造業・小売業を中心にPPAモデル*でパイプライン・新規実行が多数

セグメント資産：4,909億円	前期末比　+17億円（横ばい）

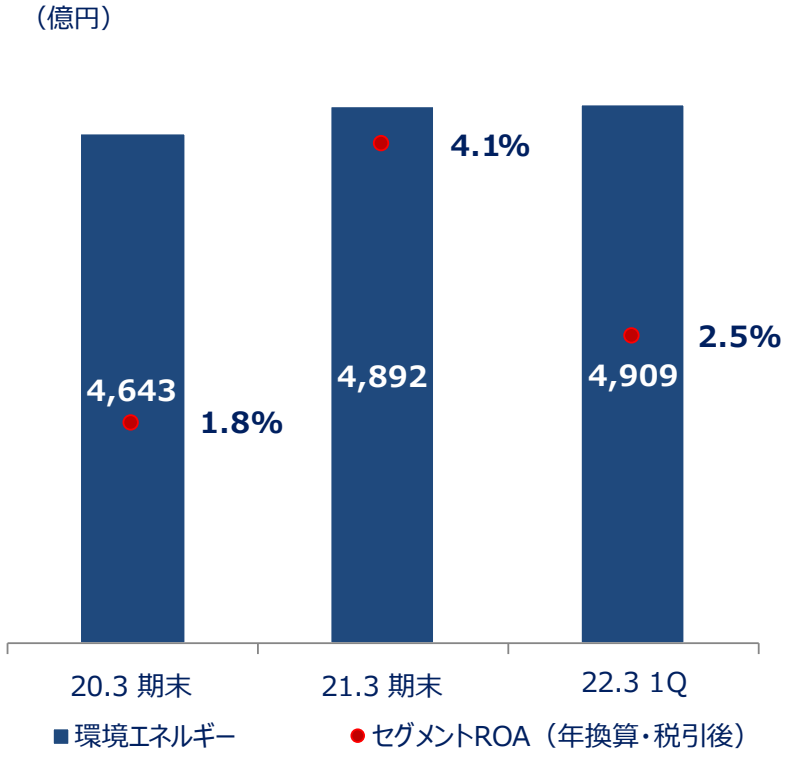
- ✓ バイオガス発電所等で資産増えるも、既存の発電施設にかかる減価償却で前期末比横ばい

*PPAモデル：当社が電力需要家の敷地や屋根などを借り受けて太陽光発電システムを設置し、発電した電力を需要家に供給する事業モデル

セグメント利益

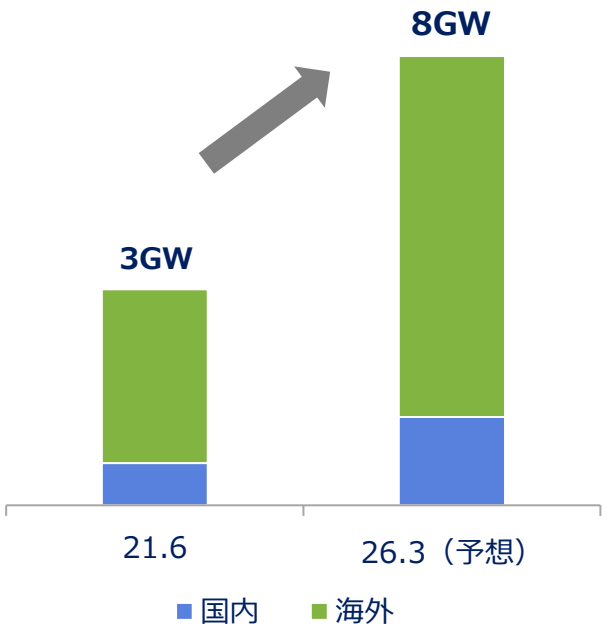


セグメント資産・ROA



再エネ設備容量の見通し*

* ORIXの持分比率等、考慮後



Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

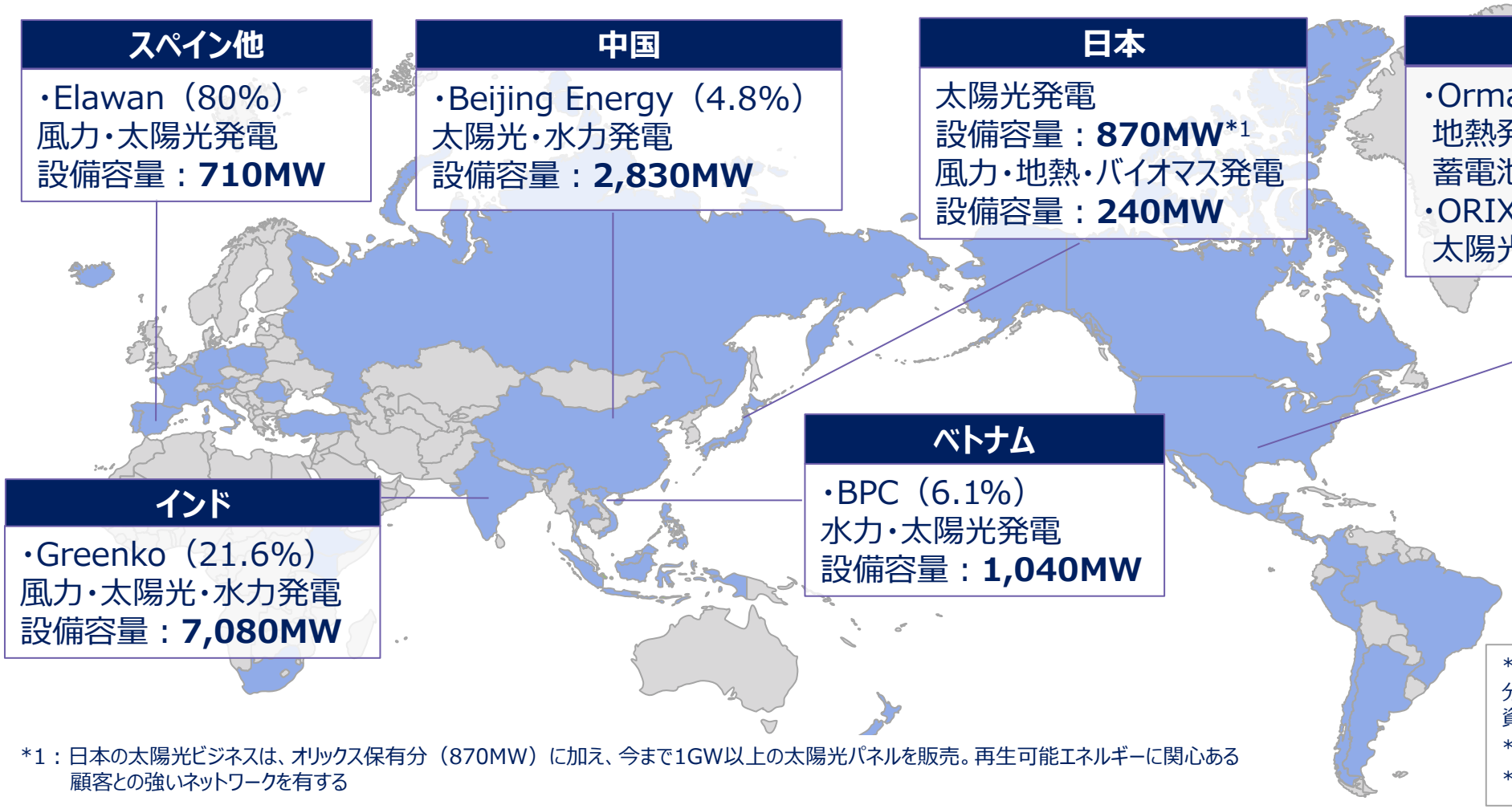
再生可能エネルギービジネスについて

ORIX

✓ 稼働済の設備容量は全世界で**3GW***

（2021年6月末時点）

Greenko, Elawanを中心に約2GWのプロジェクトが建設中。パイプラインは、Greenko 8GW以上、Elawan 9GW以上



スペイン他

・Elawan（80%）
風力・太陽光発電
設備容量：**710MW**

中国

・Beijing Energy（4.8%）
太陽光・水力発電
設備容量：**2,830MW**

日本

太陽光発電
設備容量：**870MW***1
風力・地熱・バイオマス発電
設備容量：**240MW**

米国他

・Ormat Technologies（19.6%）
地熱発電　設備容量：**1,220MW**
蓄電池　　設備容量：**80MW**
・ORIX Corporation USA（100%）
太陽光発電 設備容量：**80MW**

ベトナム

・BPC（6.1%）
水力・太陽光発電
設備容量：**1,040MW**

インド

・Greenko（21.6%）
風力・太陽光・水力発電
設備容量：**7,080MW**

*1：日本の太陽光ビジネスは、オリックス保有分（870MW）に加え、今まで1GW以上の太陽光パネルを販売。再生可能エネルギーに関心ある顧客との強いネットワークを有する

*上記の**3GW**についてはネットの数値（オリックスの持分比率、及び、個別プロジェクトがJVの場合は、その出資比率も考慮）
* 各エンティティの設備容量についてはグロスの数値
* 括弧内の数値は、オリックスの持分比率

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（5）保険

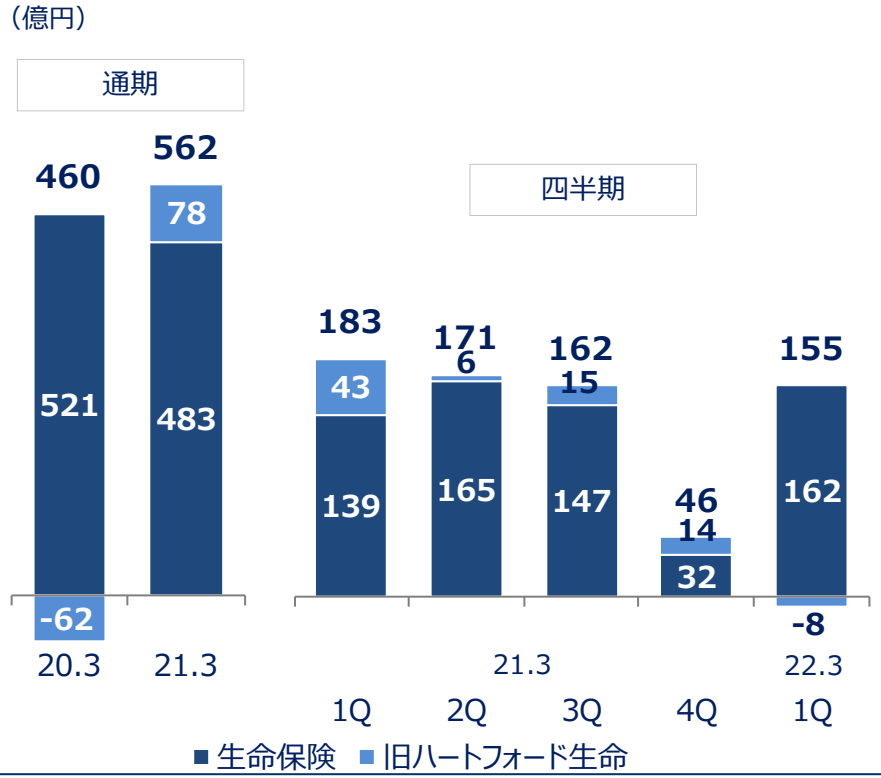
セグメント利益：155億円	前年同期比　▲28億円（▲15%）

- ✓ オリックス生命は非対面募集が伸長し、新規契約は引き続き増加、安定した利益を計上
- ✓ 旧ハートフォード生命は前期１Qに責任準備金の戻入益を計上したため減益

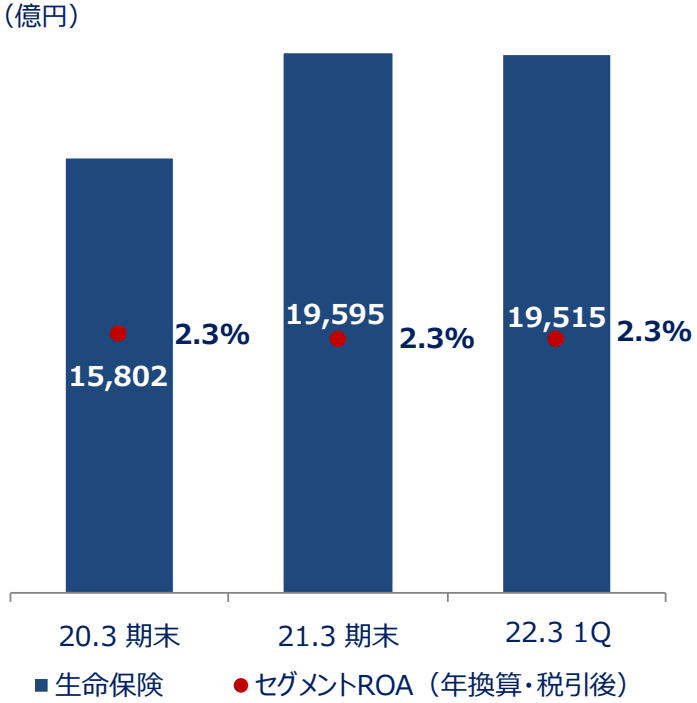
セグメント資産：19,515億円	前期末比　▲80億円（横ばい）

- ✓ オリックス生命は契約が伸び資産増加するも、旧ハートフォード生命の保有契約件数が減少し、前期末比横ばい

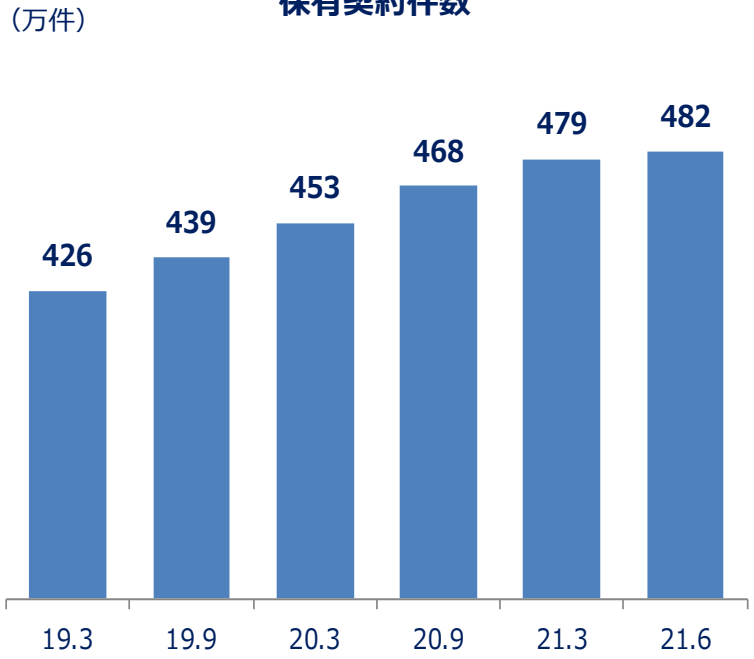
セグメント利益



セグメント資産・ROA



オリックス生命の個人保険保有契約件数

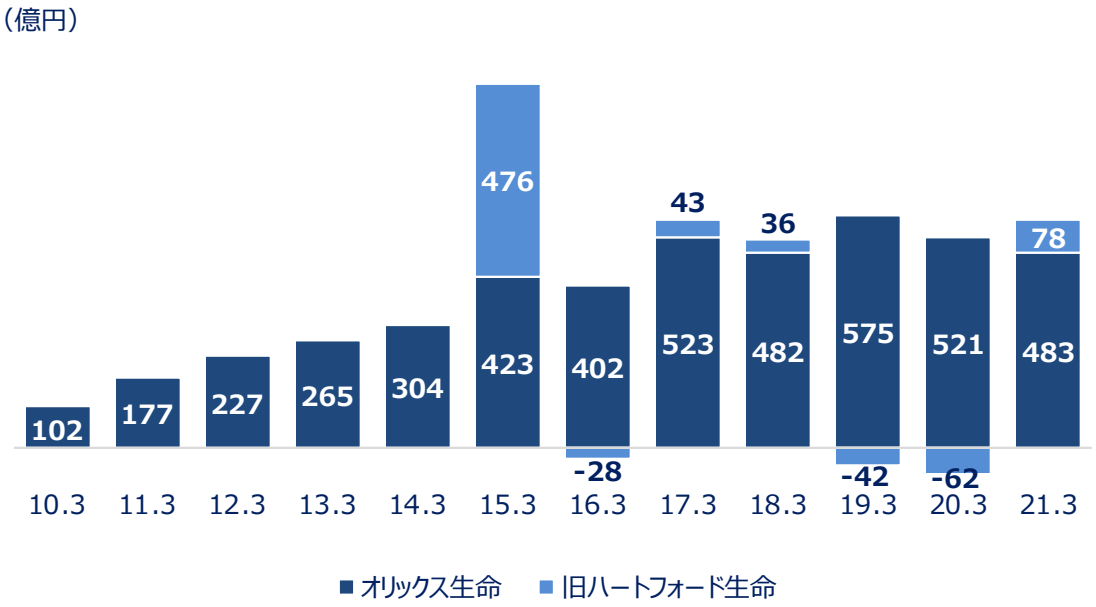


Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

生命保険事業について

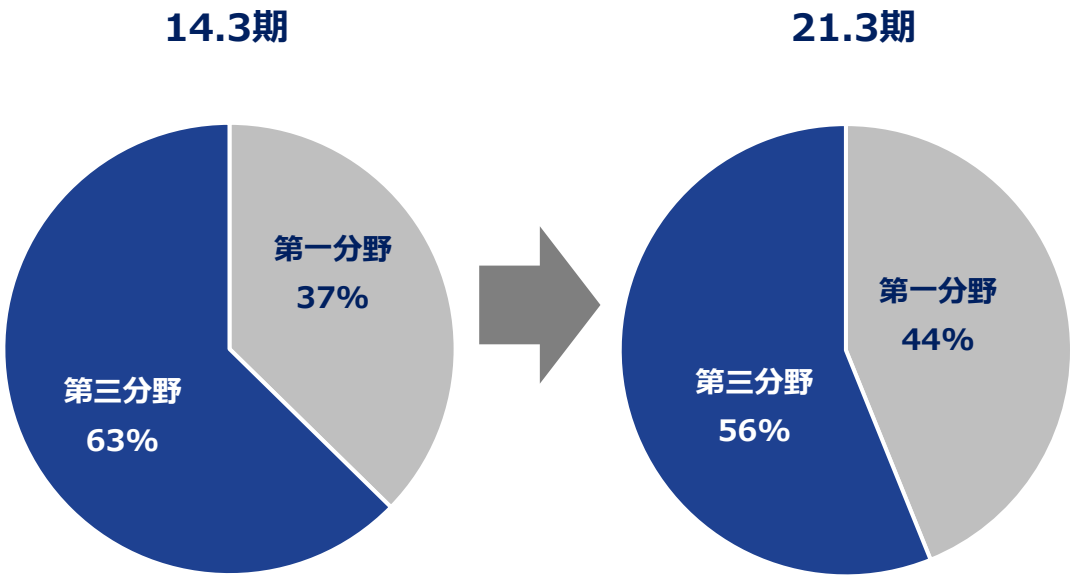
- ✓ 4種類の販売チャネル（保険代理店、金融機関代理店、通信販売、オリックス生命社員による対面コンサル）を推進
- ✓ 通信販売は、パイオニアとして1997年からサービス開始。シェアは業界トップクラス
- ✓ 医療保険CUREをはじめ第三分野中心のポートフォリオに、終身保険RISE、米ドル建終身保険Candle等の商品を新たに投入することで、よりバランスの取れたポートフォリオを実現

セグメント利益の推移＊



＊15年3月期は、旧ハートフォード生命取得に伴うバーゲンパーチェス益を計上

第一分野と第三分野のポートフォリオの推移
（保有契約の年換算保険料）



・第一分野（死亡保障など）
・第三分野（医療保険・がん保険など）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（6） 銀行・クレジット

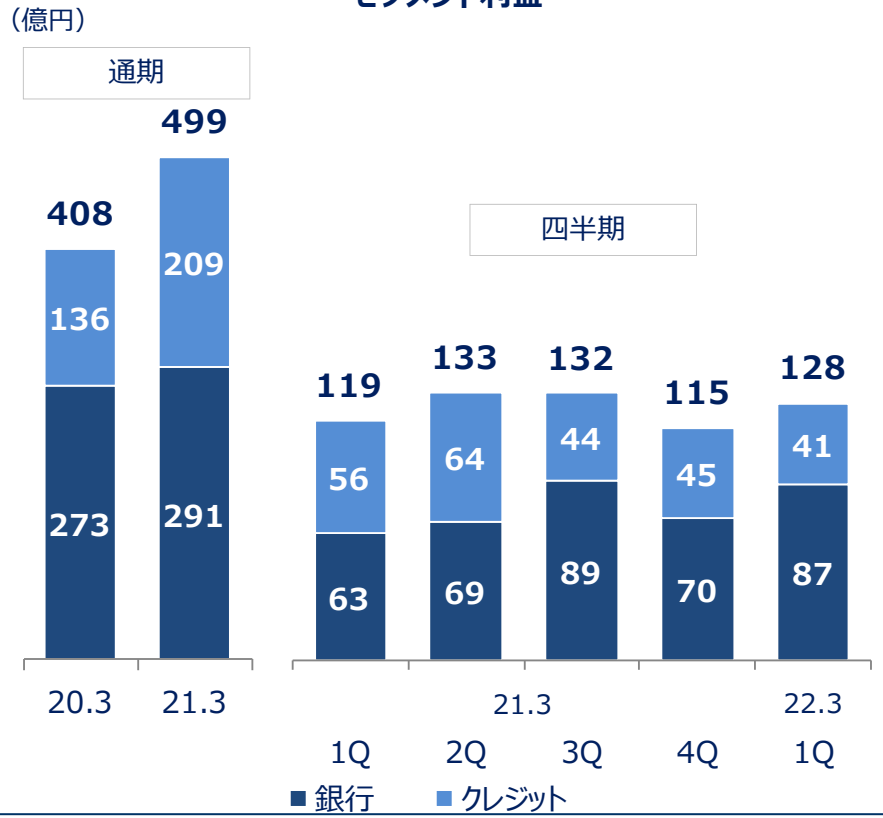
セグメント利益：128億円	前年同期比　+9億円（+7%）

- ✓ 銀行は、投資用不動産ローンの伸長等で、安定した利益を計上
- ✓ クレジットは、前年同期比で信用損失費用の戻入益が減少し、減益

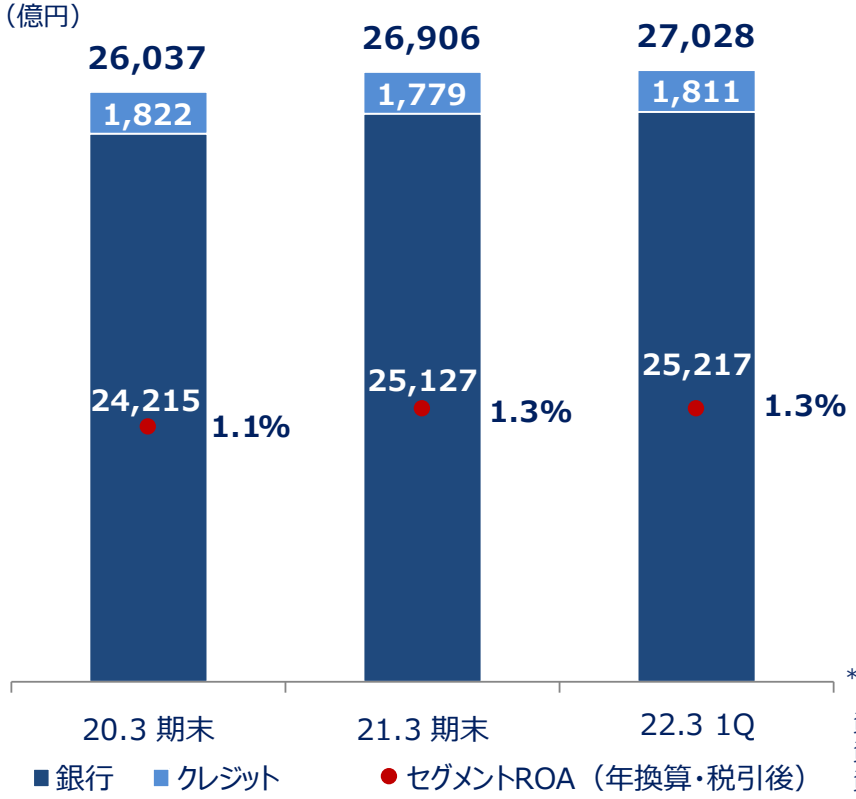
セグメント資産：27,028億円	前期末比　+122億円（横ばい）

- ✓ 銀行で投資用不動産のローン残高が増加
- ✓ クレジットも資産増加

セグメント利益



セグメント資産・ROA



利回り・資金粗利鞘*

（2021年3月末時点）

オリックス銀行（単体）	
資金運用利回り	1.99%
資金調達利回り	0.18%
資金粗利鞘	**1.81%**

*オリックス銀行の決算開示資料にて公表の数値（日本会計基準）

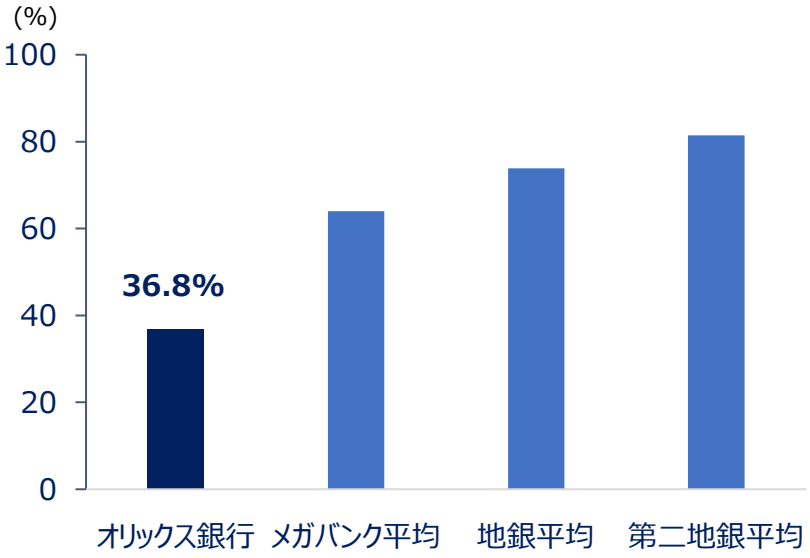
資金運用利回り＝資金運用勘定における利息(大半が貸付金利息）÷平均残高
資金調達利回り＝資金調達勘定における利息÷平均残高
資金粗利鞘　　＝資金運用利回り－資金調達利回り

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

銀行事業について

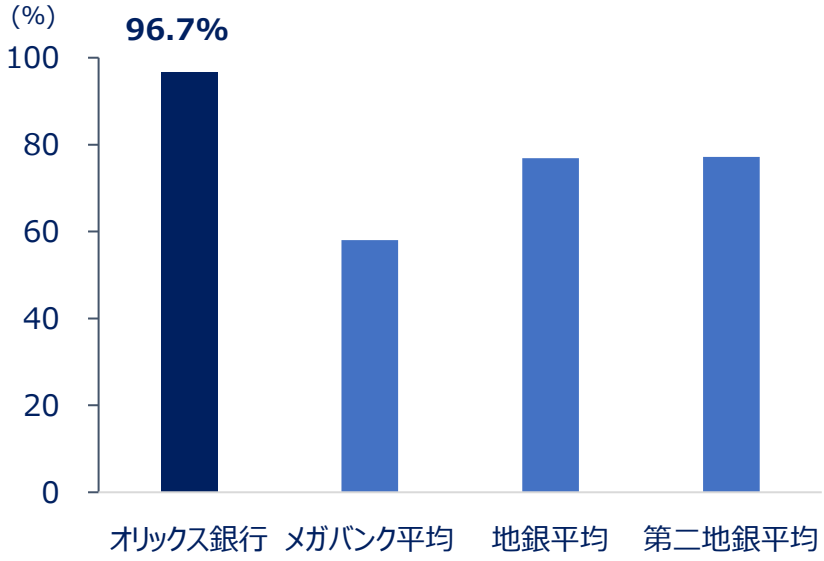
- ✓ オリックス銀行は、投資用不動産ローン等を中心にサービスを提供し、同業他社と比べ高いROE・ROAを実現
- ✓ 店舗網や口座決済機能、ATM機能を持たず、運営費を抑えたビジネスモデルで展開しているため、相対的に低い経費率、高い預貸率を維持

20.3期 経費率



*21.3期　オリックス銀行の経費率は37.5%

20.3期 預貸率



*21.3期　オリックス銀行の預貸率は96.8%

20.3期　ROE/ROA

	ROE	ROA
オリックス銀行	**9.4%**	**0.8%**
メガバンク平均	5.9%	0.2%
地銀平均	3.0%	0.1%
第二地銀平均	1.8%	0.1%

*全国銀行協会の「2019年度各行別財務諸表」に基づき当社集計
*経費率は「営業経費」、「業務粗利益」にて算出
*21.3期　オリックス銀行のROEは9.3%、ROAは0.7%

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（7） 輸送機器

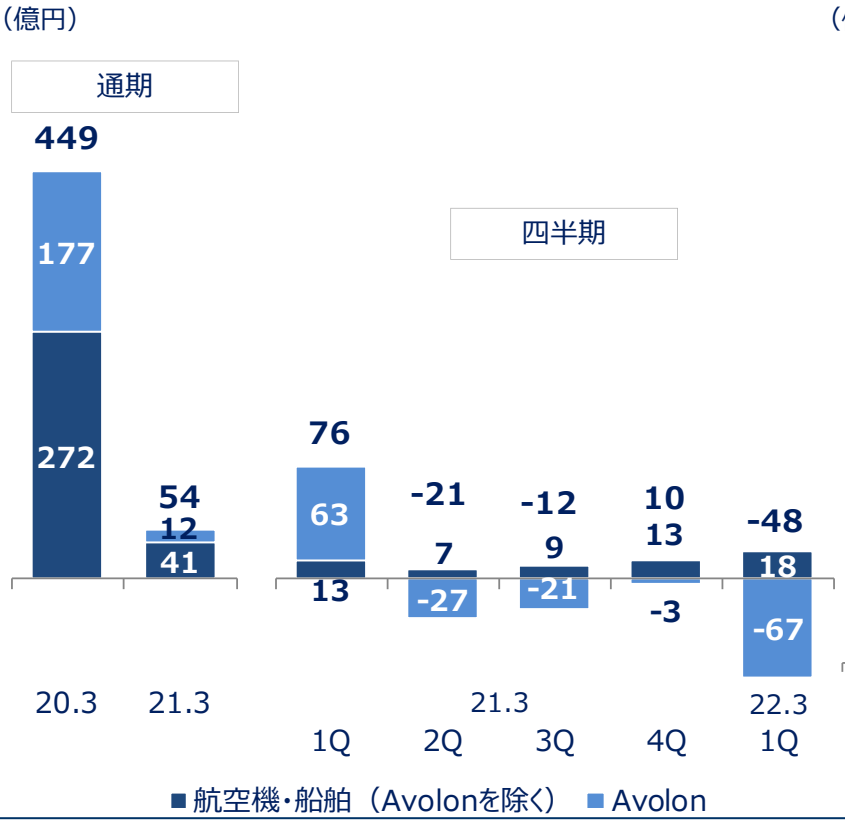
セグメント利益：▲48億円	前年同期比　▲124億円（▲164%）

- ✓ 航空機は前期１Qと同水準ながら、AvolonでHNA関連企業とのリース契約に基づく損失を計上し減益
- ✓ 船舶は、貸付金が増加し増益

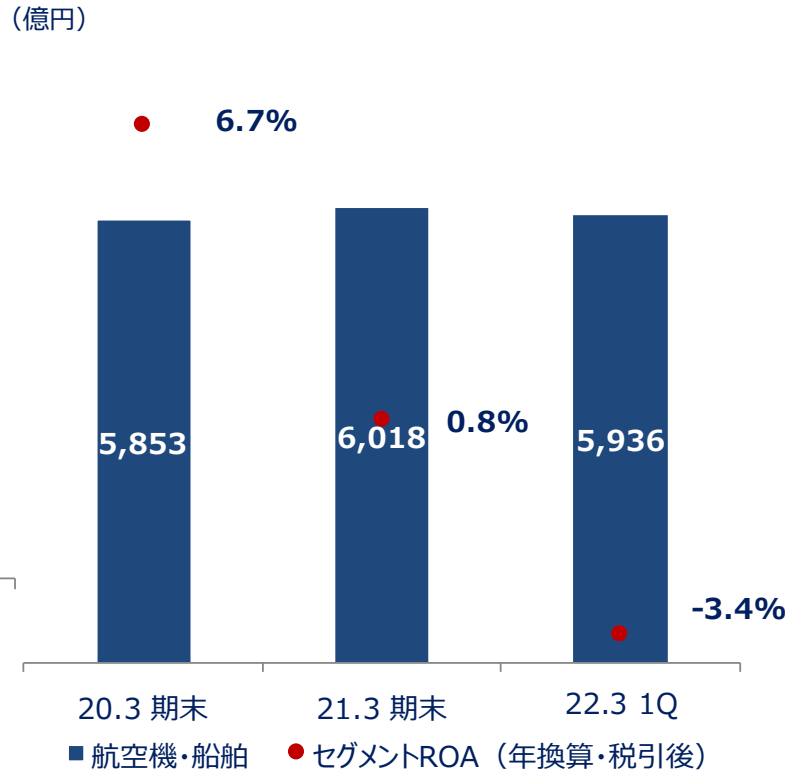
セグメント資産：5,936億円	前期末比　▲81億円（▲1%）

- ✓ 航空機は減価償却や売却で資産減少
- ✓ 船舶の資産は増加

セグメント利益



セグメント資産・ROA



航空機リース事業　（2021年6月末時点）

	オリックス 航空機リース事業	Avolon
業歴	43年 ファイナンスリースから開始 （1991年ORIX Aviation設立）	11年 （2010年設立）
ビジネスモデル	• 中古マーケットでのトレーディングが主力 • 第三者に対する機体購入のアレンジメントやアセットマネジメントサービスに強み	• 航空機メーカーに大口発注 • 発注機のリーシングに強み
オリックス出資比率	100%	30% （2018年11月取得）
格付	S&P：最上位Strong （サービサー格付）	Fitch　：BBB- Moody's　：Baa3 S&P　：BBB-

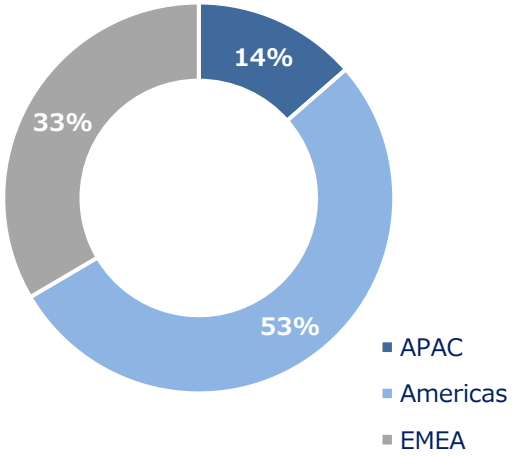
（ご参考）　Moody'sが見通しを引き上げ：
・航空機リース業界：ネガティブ→安定的へ（2021年5月）
・Avolon：Baa3/ネガティブ→Baa3/安定的（2021年6月）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

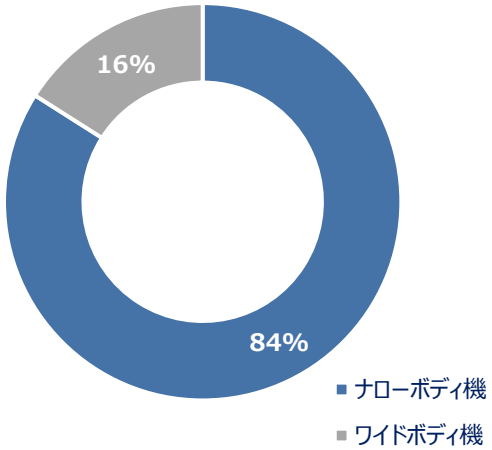
航空機リース事業について

オリックス 航空機リース事業

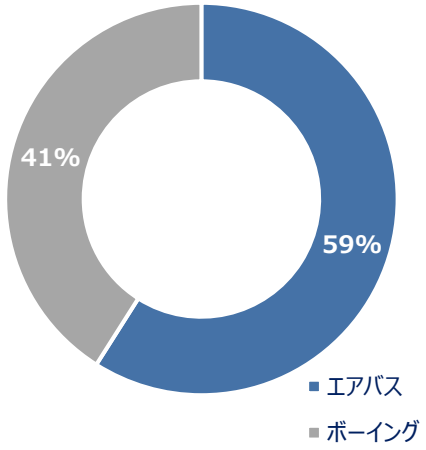
地域分布
（簿価ベース）



機種分布
（機数ベース）

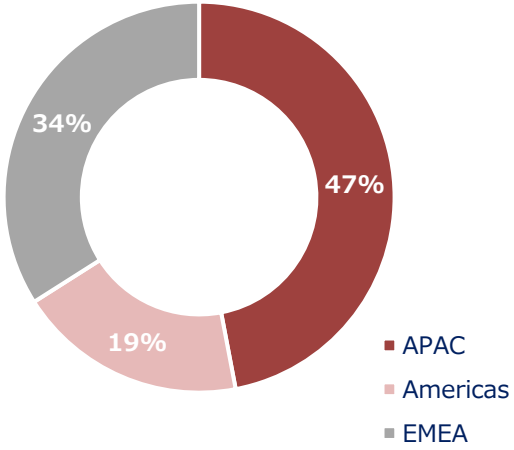


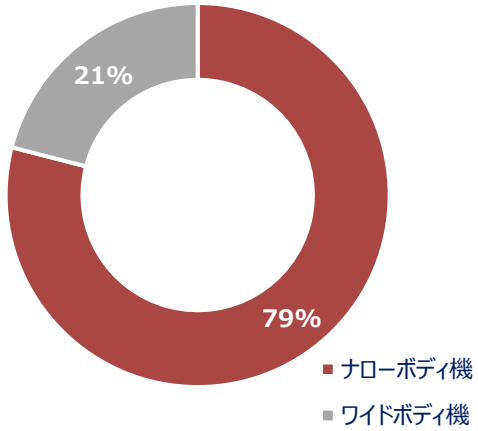
メーカー分布
（機数ベース）

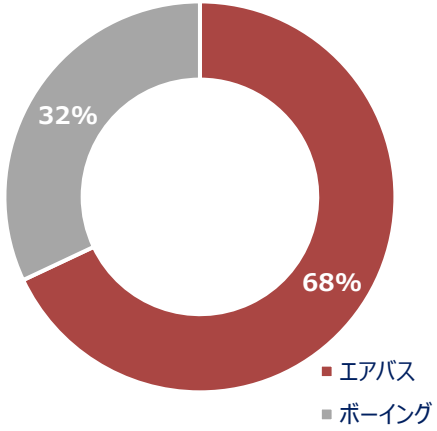


保有機数	発注機数
68機	0機
平均機齢 6.3年	
平均残リース期間 6.4年	管理機数 152機

Avolon







保有機数	発注機数*
520機	256機
平均機齢 5.5年	
平均残リース期間 6.8年	

*メーカー発注のキャンセル等により2019年12月末時点の400機から減少

2022年9月までにデリバリーされる発注機は全機リース契約締結済み

2021年6月末時点

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（8）ORIX USA

セグメント利益：252億円	前年同期比　+257億円（黒字転換）

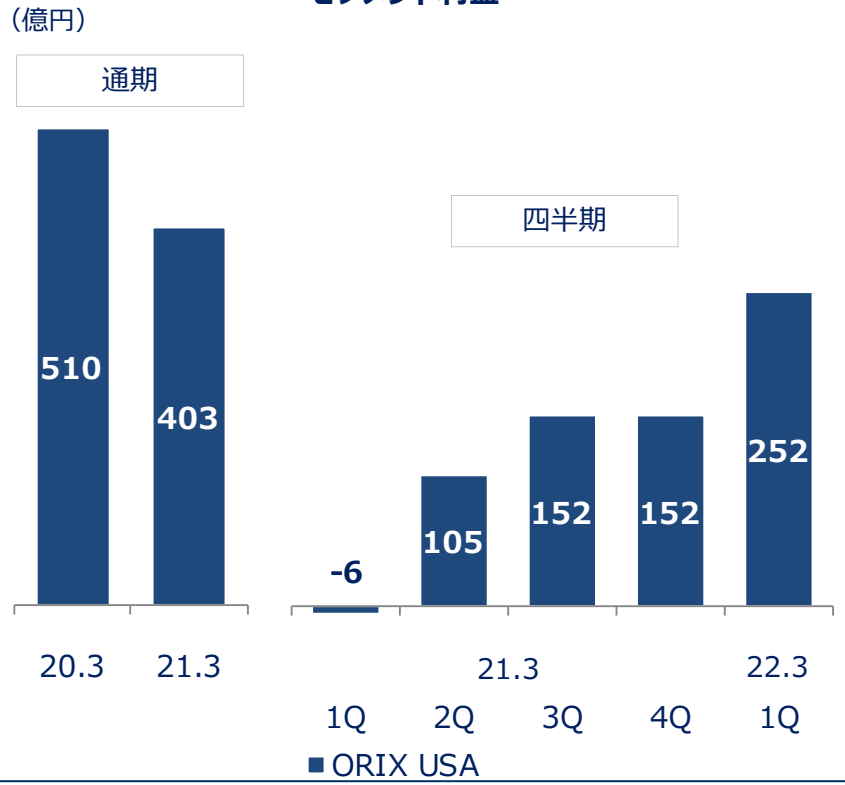
- ✓ PE投資にて、交通インフラ安全サービスの米最大手RoadSafeをはじめ複数案件の売却益を計上し大幅増益
- ✓ Lument*等アセットマネジメントも好調

*不動産ローン組成等を主な事業とするアセットマネジメント会社

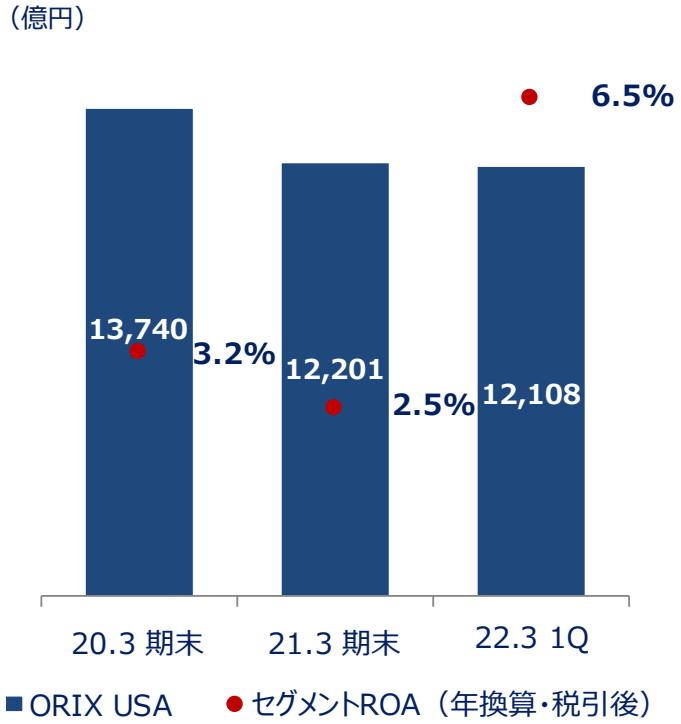
セグメント資産：12,108億円	前期末比　▲93億円（▲1%）

- ✓ 企業向け与信案件に引き続き慎重に取り組んでおり、また、RoadSafeをはじめ複数のPE投資の売却等に伴い資産減少

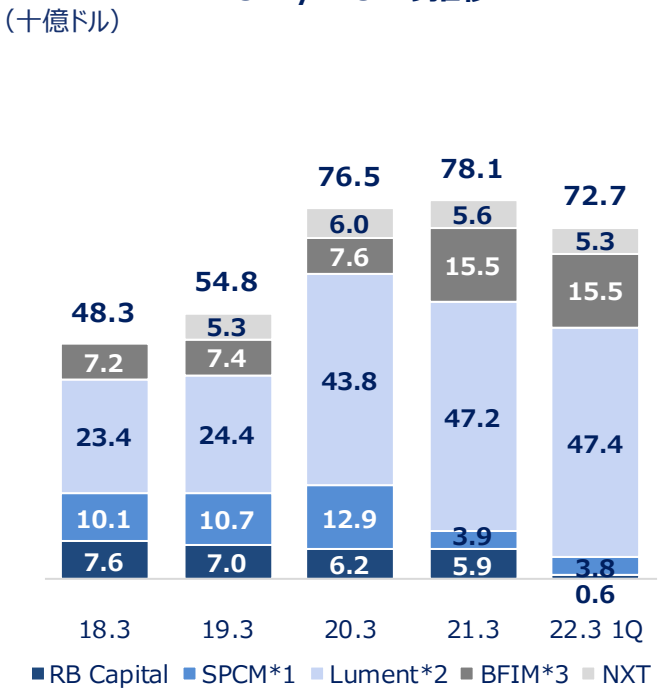
セグメント利益



セグメント資産・ROA



AUM / AUAの推移



*1: Signal Peak Capital Management、旧Mariner
*2: Red Capital Group, Lancaster Pollard, Hunt Real Estateを統合
*3: 2020.12にBoston Capitalの運用資産取得完了

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

ORIX USA事業について

- ✓ 米国において40年以上の歴史を誇る
- ✓ 現在はクレジット、事業投資（PE）及び不動産の各ビジネスにおいて、米国のミドル・マーケット企業に注力
  引き続き、これら3つのビジネスそれぞれが、アセットマネジメントビジネスの拡大を目指す（合計AUM/AUA727億ドル）

（2021年6月末時点）

クレジット	事業投資（PE）	不動産
セグメント資産: 64.0億 USドル	セグメント資産:9.4億 USドル	セグメント資産: 34.0億 USドル
NXT Capital 上位担保付ローンを中心に、米国のミドル・マーケット企業に80億ドルを融資 **ORIX Municipals & Infrastructure** 高利回り債券（地方債、インフラ関連債権）に10億ドルの投資実績 **Signal Peak Capital Management** シンジケート・ローン, ストラクチャード・ファイナンス（CLO）で50億ドルを運用	**ORIX Capital Partners** ・過去5年で18件のディール ・OCPとして初めてのエグジットを2021年4月に実現(投資先のRoadSafe Traffic Systemsを売却) ・ミドル・マーケットに注力。当初のインフラ関連投資から、現在はITサービス、デジタル・マーケティング、ファクトリー・オートメーションにシフト **ORIX Private Equity Solutions** ・過去9年で47件のディール ・平均投資金額は1,000~2,000万ドル	既存の不動産子会社3社を新ブランド **Lument** に統合 FHAローン組成 1位 / 中低所得者向け 住宅FHAローン貸付 6位 / 米国内シニア向け 住宅ローン貸付 1位 / 累計シニア向け FHAローン住宅貸付 1位 / Fannie Mae & Freddie Mac 米国内 少額ローン取扱トップ5 *Mortgage Bankers Association's 2020 CRE Originations Rankings 営業拠点 :**30か所以上** 従業員 :**約600名** 融資スタッフ:**約160名**

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（9）ORIX Europe

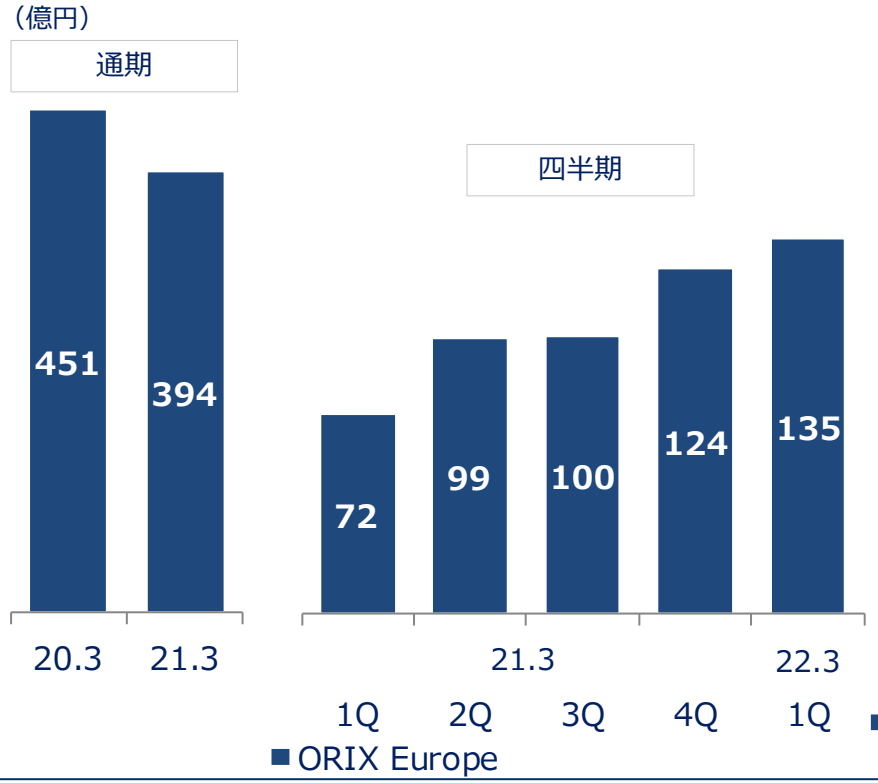
セグメント利益：135億円	前年同期比　+63億円（+87%）

- ✓ AUMの回復傾向が続き、22.3期1Q末に過去最高を更新
- ✓ ESG投資に強いRobecoにおいて収益性の高いサステナブル銘柄ファンドのAUMが拡大、手数料収入の増加に寄与

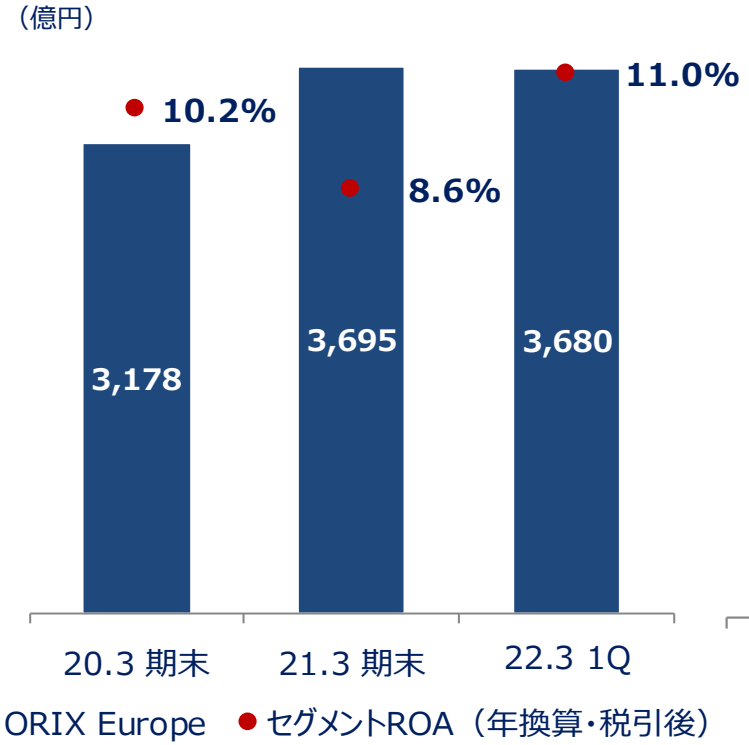
セグメント資産：3,680億円	前期末比　▲15億円（横ばい）

- ✓ 前期末比で横ばい

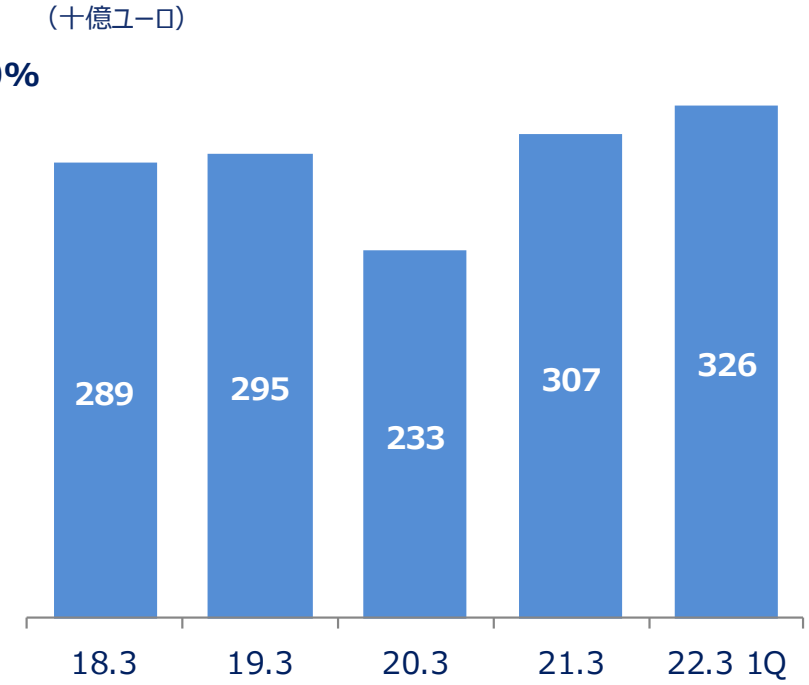
セグメント利益



セグメント資産・ROA



AUMの推移



Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

ORIX Europe事業について

- ✓ セグメント事業内容：株式・債券や再生可能エネルギー等ファンドのアセットマネジメント
- ✓ RobecoとGravis Capital Managementを中心に、ESG投資を積極推進

主要事業会社	本拠地	特徴	設立（取得）
Robeco	ロッテルダム	株式・債券運用、サステナビリティ投資の資産運用会社	1929年（2013年）
Boston Partners	ボストン	バリュー株投資ブティック	1995年（2013年）
Harbor Capital Advisors	シカゴ	サブアドバイザーモデルによる運用	1983年（2013年）
Transtrend	ロッテルダム	先物投資顧問会社（CTA）	1991年（2013年）
Gravis Capital Management	ロンドン	オルタナティブ資産運用会社	2008年（2021年）

Robecoは、1990年代よりESG投資をリード
サステナビリティ投資のリーダー

Robeco単体の運用資産総額 （2021年3月末時点）

1,880億ユーロ

うちESG要素を統合した運用資産総額

1,680億ユーロ

2050年までにAUMレベルでのカーボンニュートラル達成を目指す（2020年12月にNet Zero Asset Managers Initiativeへの参画を表明）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

オリックスグループ　アセットマネジメント事業

✓ 伝統的な株式・債券の運用（OCE）から、米国、欧州を中心にオルタナティブ系の資産運用ビジネスを拡大

2021年6月末時点の
運用資産残高：
約 52 兆円

OCE（ORIX Corporation Europe）

AUM
42.8 兆円

-Robeco Institutional Asset Management
-Harbor Capital Advisors
-Boston Partners Global Investors
-Transtrend
-Gravis Capital Management

OCU（ORIX Corporation USA）

AUM
8.0 兆円

-Signal Peak Capital Management
-Lument (旧OREC: Red Capital Group, Lancaster Pollard, Hunt Real estate Capital)
-Boston Financial Investment Management
-NXT Capital

不動産（日本）

AUM
1.3 兆円

-オリックス・アセットマネジメント（OAM）
-オリックス不動産投資顧問（ORIA）

その他　（日本）

-自動車の管理台数 **142 万台**
-航空機の管理機数 **152 機**
-発電所の管理 **83 サイト 430 MW***

*2018年にオリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント（OREM）を設立

OCE,OCUのAUMは
2021年6月末時点の為
替レートで換算

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

セグメント別実績（10） アジア・豪州

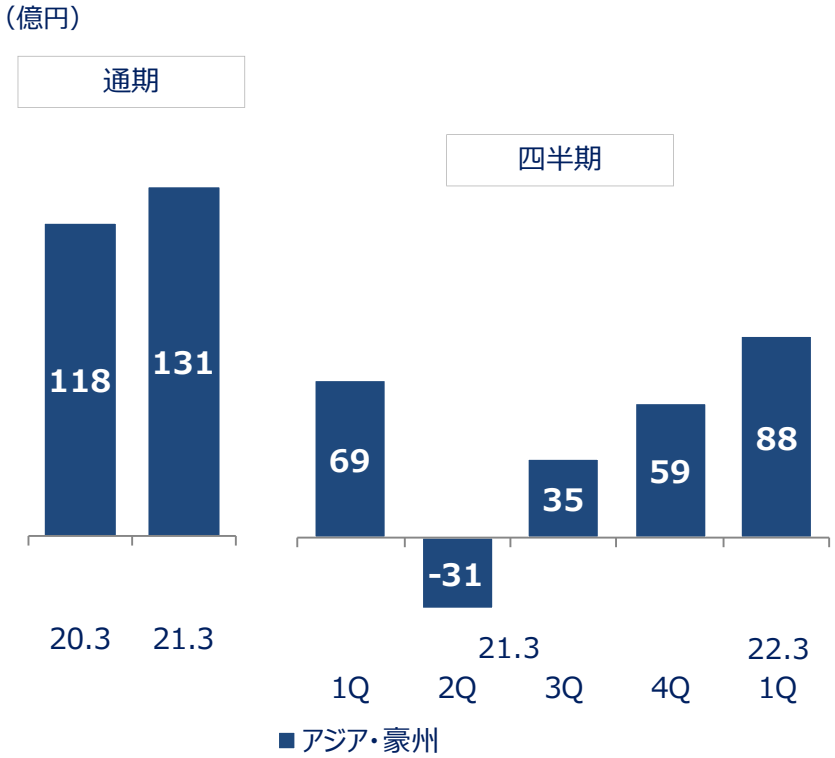
セグメント利益：88億円	前年同期比　+19億円（+28%）

✓ 中国、韓国でリースの新規実行が加速し増益
✓ 豪州の自動車リースの増益も寄与

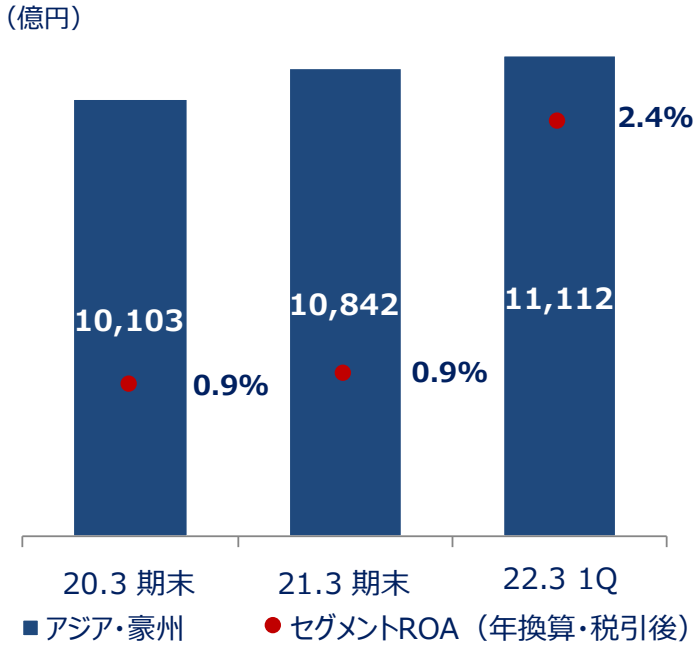
セグメント資産：11,112億円	前期末比　+269億円（+2%）

✓ 東南アジアではコロナの影響で引き続き資産減少傾向なるも、中国、韓国でリースの新規実行が伸び資産増加

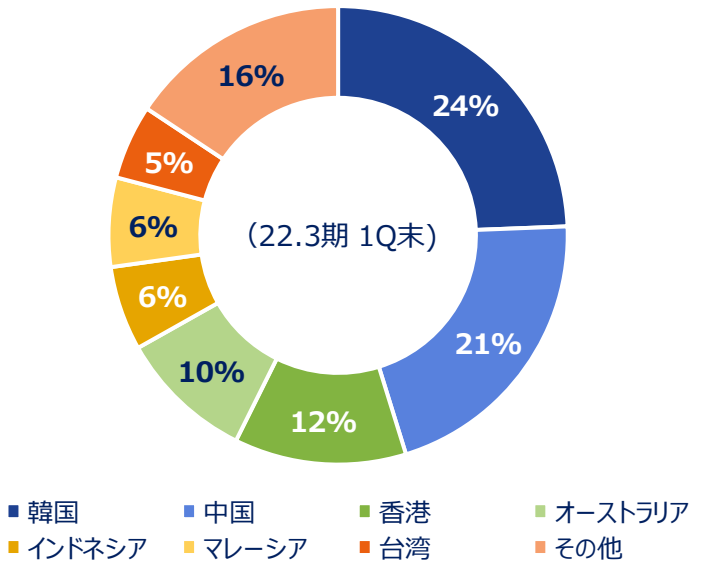
セグメント利益



セグメント資産・ROA



セグメント資産/地域別

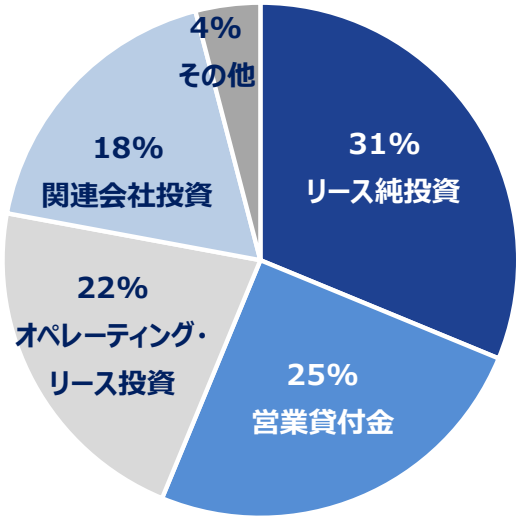


Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

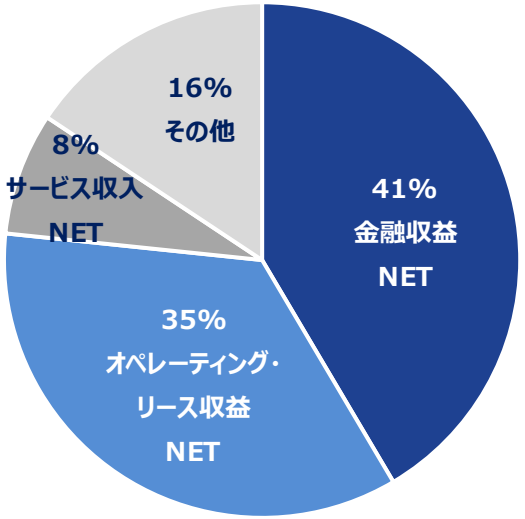
アジア・豪州事業について

✓ セグメント事業内容：アジア・豪州における金融、投資

セグメント資産（21.3期末）

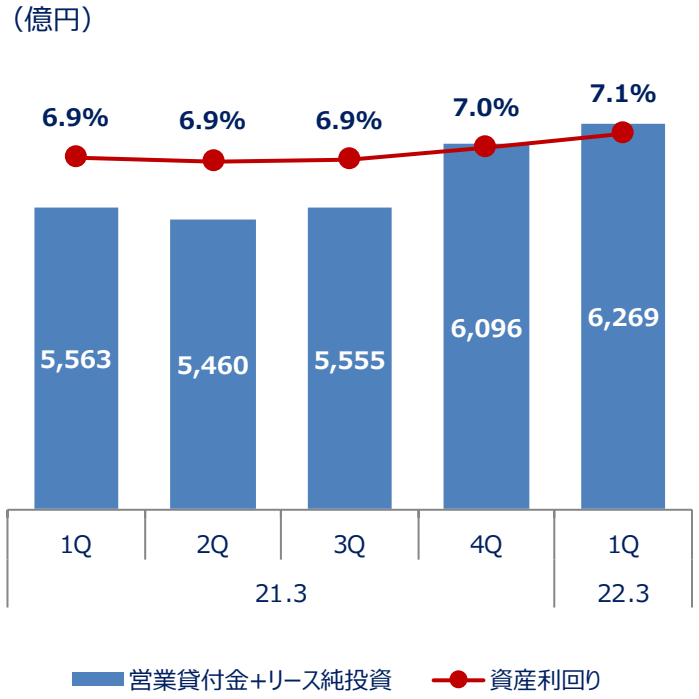


セグメント収益 NET*（21.3期）



＊セグメント収益NET：セグメント収益の各項目について、セグメント費用の各項目を差引後の粗利益（販売費および一般管理費控除前）

金融資産利回り



金融資産利回り＝（貸付金利息+リース純投資収益）÷（営業貸付金+リース純投資の平均残高）

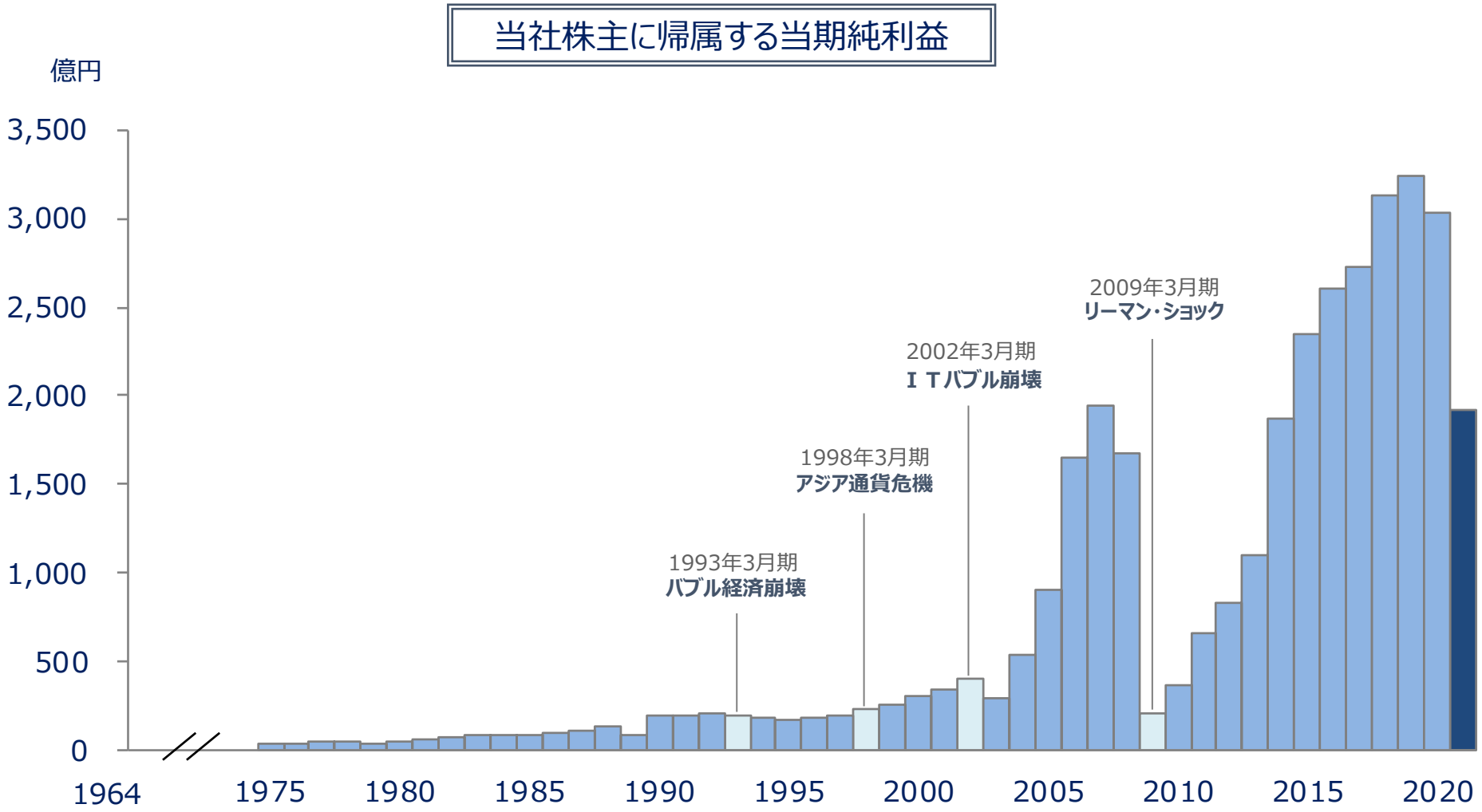
Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

補足資料

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

オリックスについて　持続的な成長

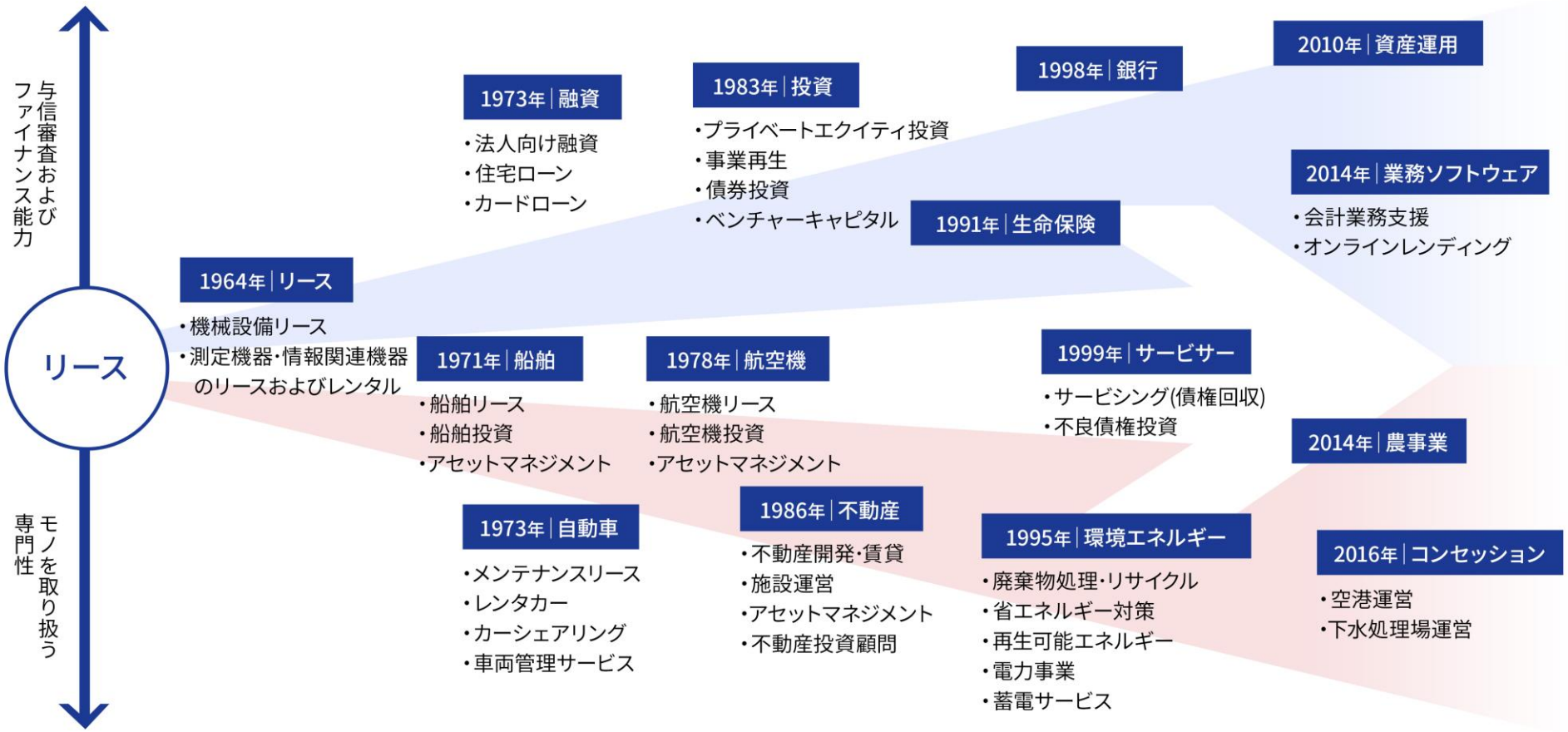
✓ 設立初年度を除き、56年間毎期黒字を計上



Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

オリックスについて　事業の専門性とグループの総合力

✓「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開



Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

オリックスについて　グローバルネットワーク

✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界31ヶ国・地域で事業を展開

拠点数

日本
1,654

日本以外
519

（2021年3月末日時点）

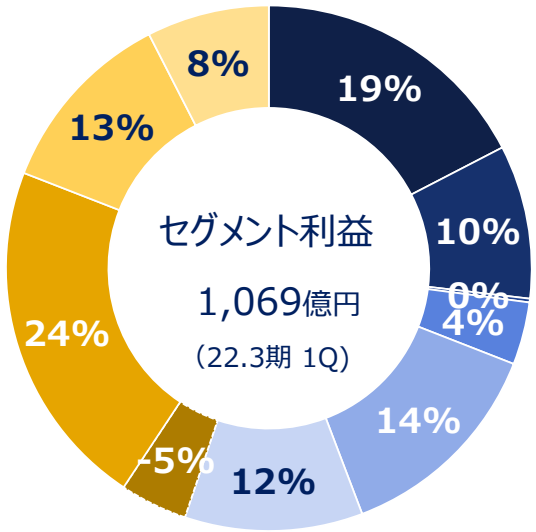
1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
グローバルネットワークの国・地域数				
7カ国・地域	12カ国・地域	18カ国・地域	26カ国・地域	世界 31カ国・地域
アジアでのリースを中心とした グローバルネットワークの拡大		グローバルネットワークの拡大継続 航空機関連やエクイティ投資への事業が多角化		ロベコ買収や、環境エネルギー事業の展開を 通じてさらに事業分野が拡大

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

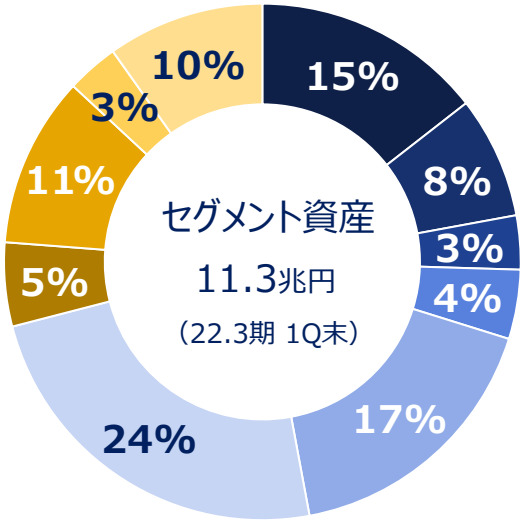
オリックスについて　セグメント別の利益・資産の構成

✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

法人営業・メンテナンスリース	金融、各種手数料ビジネス、自動車および電子計測器・ICT関連機器などのリースおよびレンタル、弥生
不動産	不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント
事業投資・コンセッション	企業投資、コンセッション
環境エネルギー	国内外再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理
保険	生命保険
銀行・クレジット	銀行、カードローン
輸送機器	航空機のリース・管理、船舶関連投融資
ORIX USA	米州における金融、投資、アセットマネジメント
ORIX Europe	株式・債券のアセットマネジメント
アジア・豪州	アジア・豪州における金融、投資



21.3期 EBITDA 7,128億円

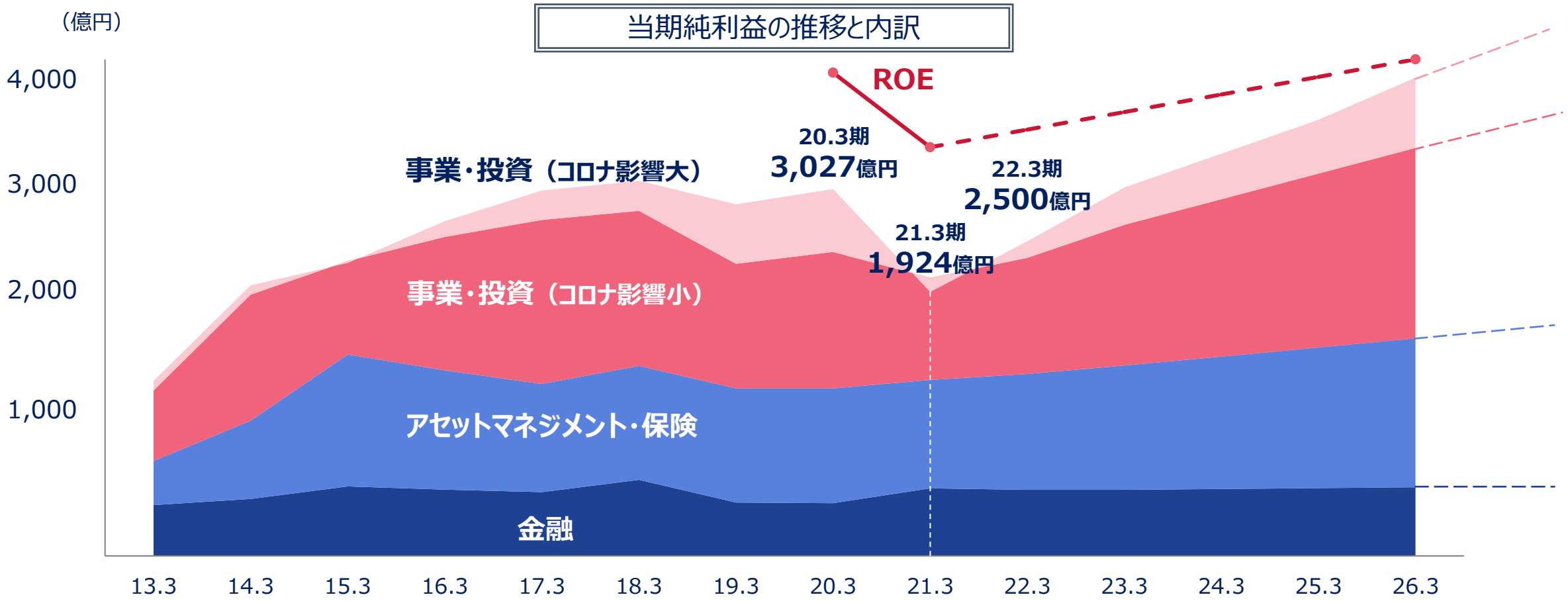


Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

今期以降の見通し　2021年5月公表資料

ORIX

- ✓ 22.3期の当期純利益目標は2,500億円。早期に当期純利益3,000億円、中長期的に4,000億円を目指す
- ✓ ROE11%以上に戻すことは、最重要課題



*各項目の構成要素は、P.38をご参照

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

ポートフォリオの３分類（P.37の金融、アセットマネジメント・保険、事業・投資の構成要素）

3分類とセグメントのマトリクス

セグメント	3分類：金融	3分類：アセットマネジメント・保険	3分類：事業・投資	3分類：事業・投資
法人営業・メンテナンスリース	法人営業		自動車、レンタル、サービサー、弥生	
不動産		アセットマネジメント	不動産投資、大京	不動産運営
事業投資・コンセッション			PE投資	コンセッション
環境エネルギー			環境エネルギー	
保険		生命保険		
銀行・クレジット	銀行、クレジット			
輸送機器			船舶	航空機
ORIX USA		アセットマネジメント、貸付金、債券投資	PE投資	
ORIX Europe		アセットマネジメント		
アジア・豪州	リース、貸付金		PE投資	

コロナ影響小　　コロナ影響大

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

不動産運営、輸送機器、コンセッションのセグメント利益

✓ 不動産運営、輸送機器、コンセッション（3事業）は、引き続きコロナの影響が残る

（億円）

	セグメント利益						前年同期比	
	20.3期	21.3期				22.3期	20.3期	21.3期
	1Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q比	1Q比
不動産（運営等）*	33	▲61	▲25	▲15	▲49	▲27	▲60	+33
輸送機器	103	76	▲21	▲12	10	▲48	▲151	▲124
コンセッション	32	0	▲34	▲32	▲17	▲35	▲68	▲35
合計	168	15	▲80	▲59	▲56	▲111	▲279	▲126

*不動産（運営等）のセグメント利益は、不動産セグメントにおける投資・運営ユニットのセグメント利益から売却益を差し引いて算出

22.3期1Q

- ✓ **不動産（運営等）** 緊急事態宣言の発令により、コロナ前の水準には回復しないものの、ホテル・旅館の稼働率は前年同期比で改善
- ✓ **輸送機器** HNA関連企業とのリース契約に基づく損失を計上し減益なるも、格付機関が見通しを引上げるなど、回復傾向
- ✓ **コンセッション** 関西エアポート社の実績を3か月遅れで取込んでおり、前期1Qはコロナの影響が本格化する前の業績が含まれる

（上表記載の数字はセグメント利益の実績値。21.3期のプレゼンテーション資料では、コロナ禍前に作成した計画値と実績値の差額を掲載）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

売却益の内訳について

- ✓ 多様な事業から安定的に売却益を計上（メインドライバーは、不動産事業、事業投資、ORIX USA）
- ✓ また、オリックス・ゴルフ、オリックス・リビングの売却など、ポートフォリオの入れ替えも実施

売却益*の推移

（億円）

事業部門	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
不動産	472	② 582	③ 547	184
事業投資・コンセッション	272	8	187	14
ORIX USA	242	376 ⑤	395	289
その他	① 445	106	④ 272	387
合計	1,431	1,072	1,401	874

主な事業売却

No.	会社名	売却年度
①	オリックス電力	18.3期
②	オリックス・ゴルフ・マネジメント	19.3期
③	オリックス・リビング	20.3期
④	RobecoSAMの ESG レーティング部門	20.3期
⑤	Houlihan Lokey	18.3期、19.3期、20.3期

*売却益：賃貸不動産売却益、子会社・関連会社株式売却益、有価証券売却益など

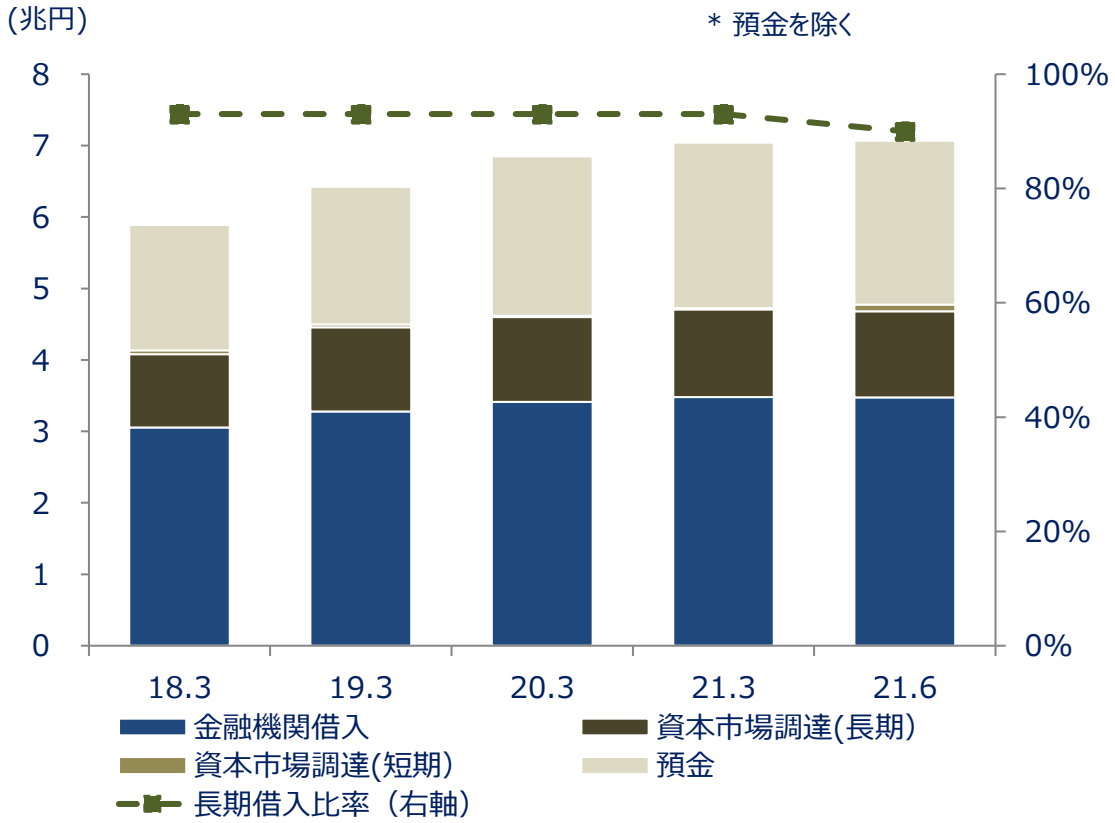
Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

財務（1）　資金調達構造/株主資本使用率

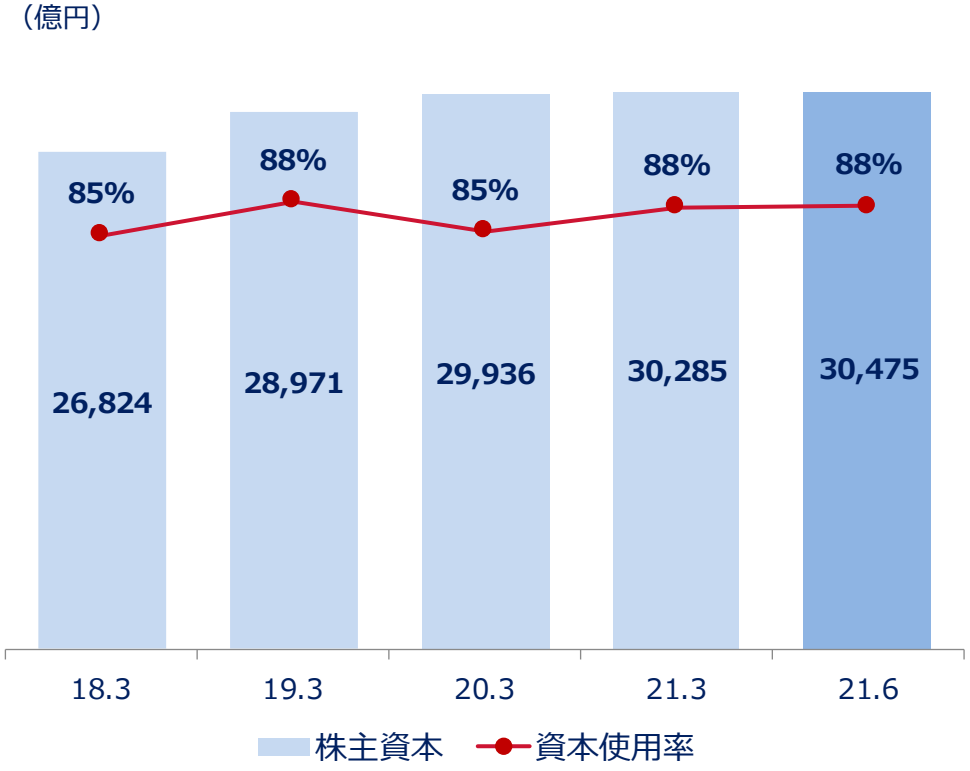
- ✓ 資金調達構造　：資金調達手法を多様化、高い長期借入比率を維持
- ✓ 株主資本使用率：オリックスの株主資本に対して、どれほど資本を使用しているかを示す比率

引き続き、リスク/リターンをコントロールしつつ成長を目指す

資金調達構造・長期借入比率＊



株主資本/資本使用率

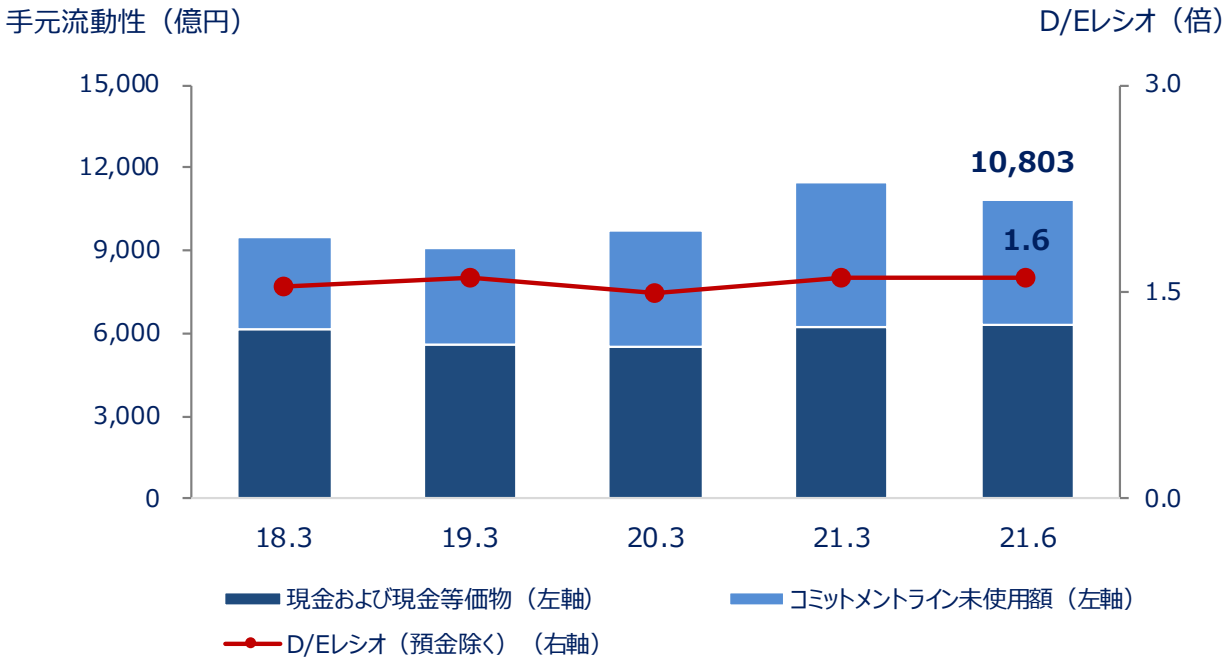


Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

財務（2）　手元流動性/格付

- ✓ 引き続き、高い流動性を維持
- ✓ S&P、Moody’s、FitchすべてA-を維持。R&IはAA-
- ✓ 投資や売却のタイミング次第では、格付が変動する可能性は有るが、中長期的にはA格に相応しい財務基盤を維持

手元流動性*・D/Eレシオ



*銀行・生命を除く

格付

（2021年6月末時点）

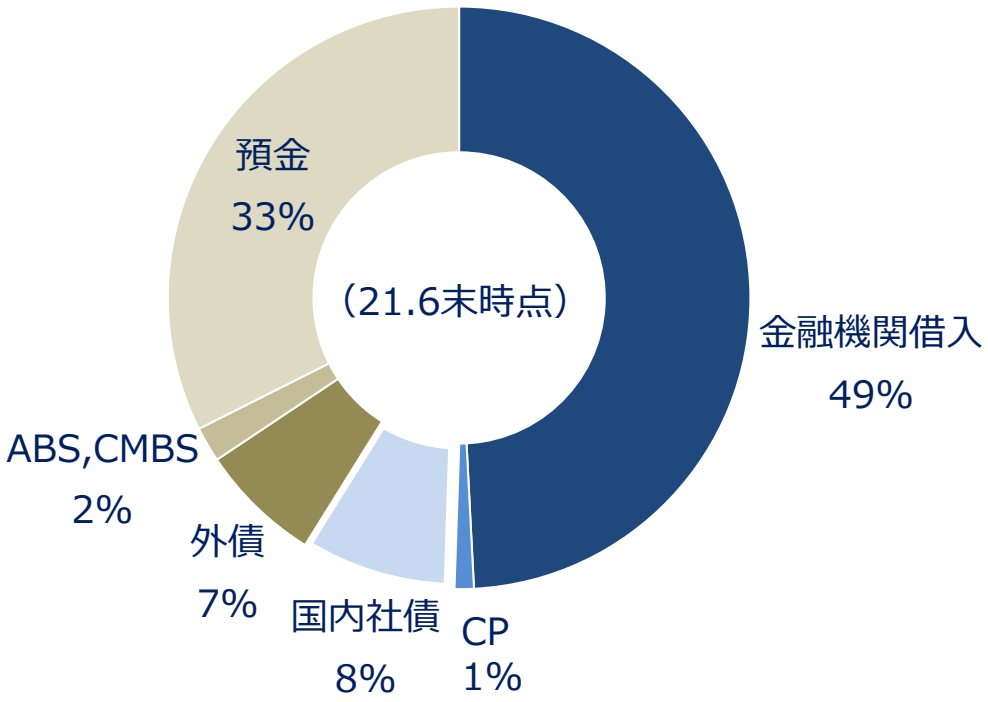
格付一覧	
S&P	A-（ネガティブ）
Moody’s	A3（ネガティブ）
Fitch	A-（ネガティブ）
R&I	AA-（安定的）

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

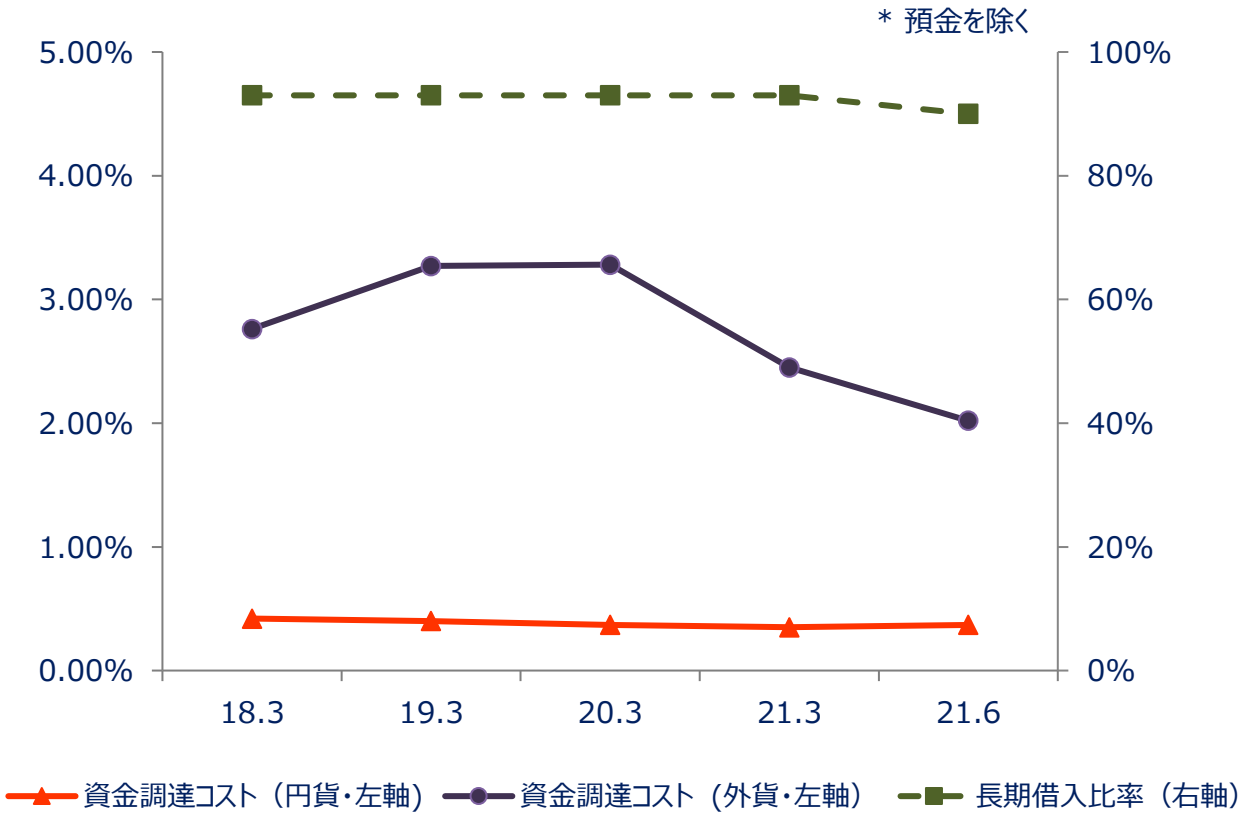
財務（3）　資金調達構造

✓ 多様化された資金調達。高い長期借入比率を維持しながらコストをコントロール

資金調達の内訳



コスト・長期借入比率 (*) の推移



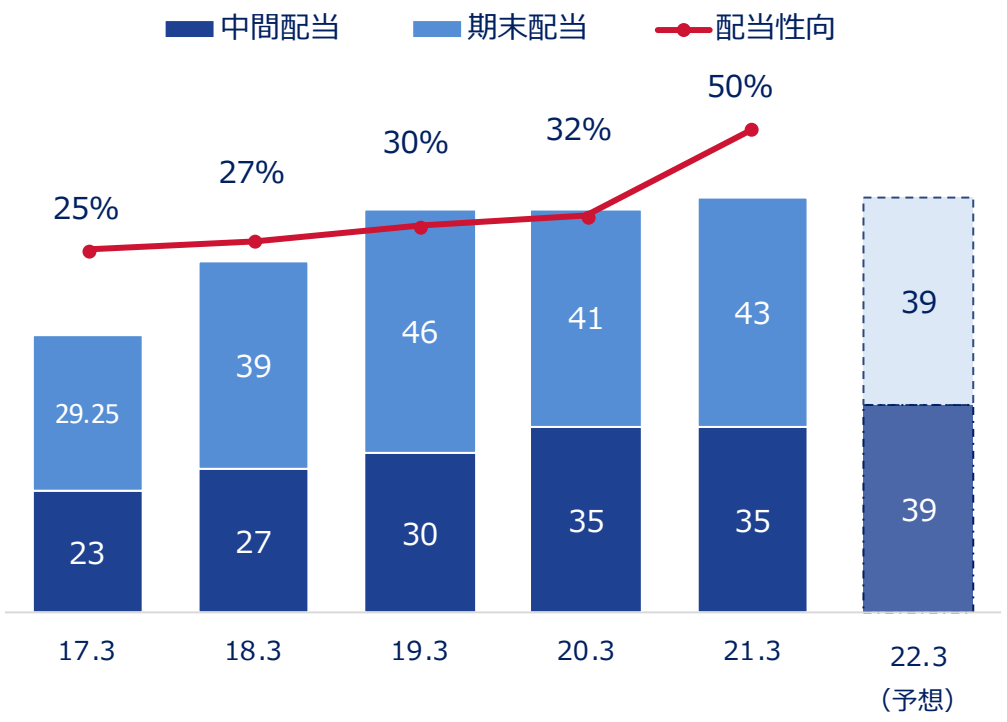
Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

株主還元

- ✓ 22.3期　通期配当予想78円（中間配当金39円）
- ✓ 自社株買いは、22.3期中に500億円を実行予定（102億円完了、2021年6月末時点）

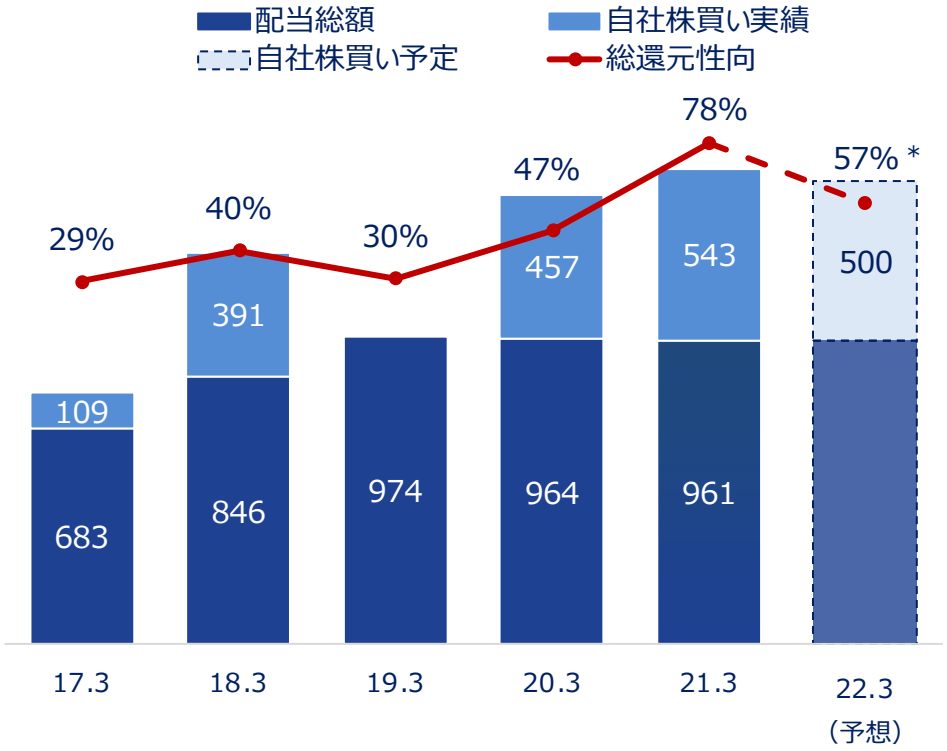
1株あたり配当金と配当性向

（単位：円）



自社株買いと総還元性向

（単位：億円）



*当期純利益が2,500億円の場合、22.3期の総還元性向は57%と予想

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

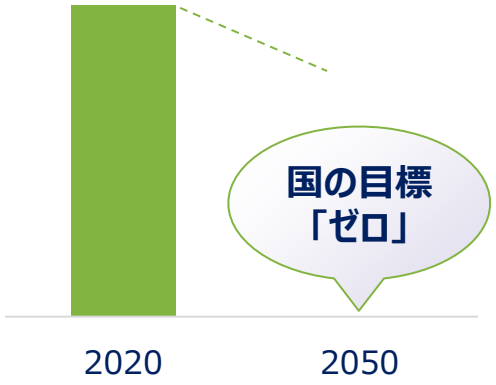
ESG方針について：環境（E） 2021年5月公表資料

ORIX

- ✓ 全社CO_2削減目標について具体的に検討中。今年秋までに公表する予定
- ✓ 再生可能エネルギー事業のグローバル展開やサステナビリティに配慮した不動産開発を加速

CO_2排出量

オリックスグループ
計 約130万トン



排出は環境エネルギー事業が中心
削減目標を検討中

各分野での取組

環境エネルギー

CO_2削減貢献量
300万トン規模
（2020年3月期/持分法適用会社含む）

- 再生可能エネルギー事業のグローバルな展開を加速
- 廃棄物処理関連分野でも、価値提供を継続

不動産

保有物件の設備更新による
CO_2排出の削減
×
サステナビリティの観点を
組み込んだ物件開発

- CASBEEなど第三者認証の取得を推進

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

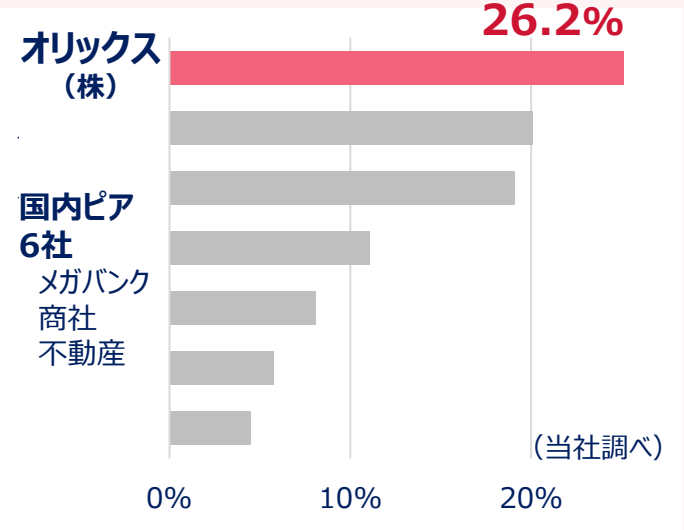
ESG方針について：社会（S） 2021年5月公表資料

ORIX

- ✓「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」が成長の源泉
- ✓ 社会への価値提供においても、オリックスが果たすべき役割は大きい

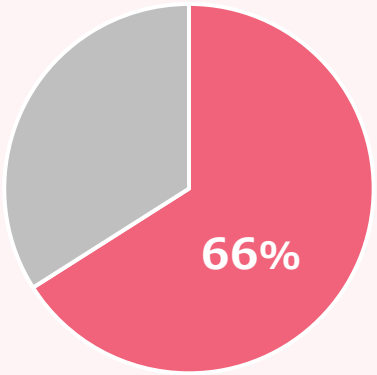
女性管理職比率

（2021年3月末）



いち早く女性の活躍推進に取り組んできた。MSCI日本株女性活躍指数（WIN）にも採用。継続的にキャリア支援策を強化

キャリア採用比率



（20.3期/国内オリックスグループ10社が対象）

採用人数に占めるキャリア採用比率は6割～7割で推移。事業の変化に応じた多様な人材を確保

社会への価値提供

- 温泉旅館の再生
- 事業承継支援
- カーシェア、テレマティクス
- オリックス銀行での遺言信託

etc.

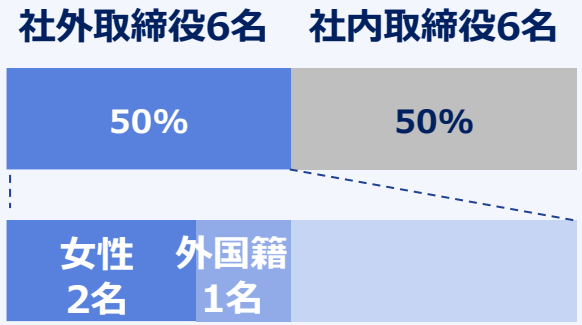
地域経済・中小企業の活性化、各種お取引先との適切な関係作りにおいて役割を果たしていく

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

ESG方針について：ガバナンス（G）

- ✓ 社外取締役は高い専門性や豊富な経験を持つ方を選任。複数が他社での経営経験を有する
- ✓ 今期より、ESGへの取組状況を執行役の報酬に反映させるべく、具体的な方法を検討中

取締役の構成



女性取締役の比率は17%

（2021年3月時点）

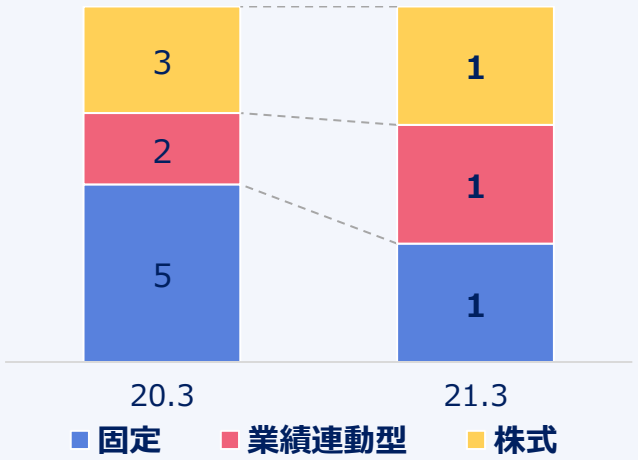
多様なバックグラウンドを持った取締役で構成。「スキルマトリクス」を今年の招集通知で開示

委員会の社外取締役比率

（2021年6月以降）

3委員会は全て社外取締役で構成。
取締役会の実効性向上に継続的に取り組む

役員報酬制度



（詳細は有価証券報告書および統合報告書を参照）

業績連動型報酬および株式報酬の比率を引き上げ。株主との、より一層の価値共有を図る

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

Copyright © 2021 ORIX Corporation All rights reserved.

ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/

IR資料室

URL: https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/

オリックス株式会社　IR・サステナビリティ推進部

TEL：03-3435-3121